国立大学法人

福島大学概要

2013

NATIONAL UNIVERSITY CORPORATION
FUKUSHIMA UNIVERSITY OVERVIEW
AND STATISTICS

国立大学法人
福島大学
Fukushima University

国立大学法人
福島大学
Fukushima University

○全体の形は、福島大学の頭文字「F」を表している。縦長の長方形は、大地（地域）にしっかりと根を下ろしている様を、二つの躍動感あふれるフォルムは、軽やかで爽やかな風がキャンパスを吹き抜ける様を表している。
○下の葉は学生の新しい芽吹きを想起させる「若草色」上の葉は変化と広がりを感じさせる「青のグラデーション」
○二枚の葉は、伝統に根ざした発展と伝統を継承する「人文社会学群」と、新しく創設した「理工学群」を表している。
○全体として、文理融合による教育重視の人材育成大学の発展への願いを託している。

【平成25年7月 発行】

福島大学総務課
〒960-1296 福島市金谷川1番地
TEL 024-548-5190
http://www.fukushima-u.ac.jp/

目　次

CONTENTS

学長メッセージ	Message from the President	1
新生福島大学宣言	Declaration of a New Fukushima University	2
入戸野2013アクションプラン	Nittono 2013 Action Plan	3
沿革略	Chronology	4
組織機構図	Organization	6
運営組織図	Governing Structure	6
学群・学類・夜間主コース・学系	Educational and Research Systems	7
研究科	Graduate Schools	11
学内施設等	Research Facilities	12
学術刊行物	Academic Publications	15
サテライト等	Satellite etc.	15
歴代学長	Presidents	16
役職員	Administrators	16
経営協議会委員	Management Council	17
教育研究評議会評議員	Education and Research Council	17
収入・支出決算額	Closing Accounts : Revenue and Expenditure	18
科学研究費助成事業	Grant-in-Aid for Scientific Research	18
外部資金	Funds from Other Sources	19
国際交流	International Academic Exchange Agreements	19
役職員数	Number of Faculty and Staff	20
入学志願者及び入学者	Number of Applicants and Enrolled Students	20
学生の定員及び現員	Number of Students	21
卒業生数及び修了生数	Number of Graduates	22
卒業生就職状況	Employment After Graduation	24
外国人留学生数	Number of International Students	26
奨学生	Scholarship Students	26
附属学校の定員及び現員	Off-Campus K-12 Schools	27
国際交流会館	International House	27
学生寮	Dormitories	28
大学会館	University Refectory	28
土地・建物面積	Properties	29
建物配置図	Campus Map	30
部局等の所在地案内図	Location of Offices	32
部局等の所在地及び電話番号	Contact Addresses	33

裏表紙　シンボルマークおよびその由来

地域の現実を直視し、

「研究成果を還元する教育重視の人材育成大学」を目指します

学長　**入戸野　修**
President NITTONO Osamu

平成23年３月11日の東日本大地震と津波、それに伴う原子力発電所の事故、風評による経済的被害は、福島県に人口成熟化社会（少子高齢化社会）の課題や社会格差の増大などを全国に先駆けて加速的に顕在化させました。また、この複合災害は、福島大学における物的・人的・知的資源が非常時にも地域社会に対して適切に活用されるか否かが試された時でもありました。大学は災害後の厳しい現実を冷静に直視し、今何をなすべきかを考え、「うつくしまふくしま未来支援センター」を創設しました。そして、大学構成員が一丸となり福島の復興に向けた様々な難しい課題に対して、専門を活かした本学の強みである文理融合型支援体制で積極的に活動に取り組んでおります。

世界の局所的変化が、瞬時に地球全体に反映されるボーダーレス時代となった今、災害への実際的対応、災害後に必須な支援活動および危機管理体制への新しい取り組みは、単に地域ばかりでなく、世界にも役立つ知的資源となるものです。また、学問的には複雑系に属する応用問題でもあり、将来にわたり持続循環可能で安全・安心な社会生活を確保するモデルを構築するために役立つものでもあります。複合災害を体験した福島大学は、この課題への継続的な取り組みを「理論と実践の両面からなる確固たる教育基盤」として位置づけ、継続的な支援活動を通じて「研究成果を還元する教育重視の人材育成大学」を目指します。

今年度、本学に「環境放射能研究所」を創設し、国内外の高等教育研究機関や研究機構、そして関係自治体等と密接に連携し、環境への放射性物質の動態に関する長期的な調査研究を実施します。そこでの成果は自然環境回復をはじめ県民の健康管理と安全性の確保に役立つものであります。

地域の大学はステークホルダーに対して、何事にも透明性・公平性・説明責任を保証するとともに、時代や社会の変化に迅速に適応することが強く要請されています。さらに、社会や経済などが激しく変化する競争時代だからこそ、大学の知財を地域社会に向けて適切に活用することを意識した、知の創造・継承拠点としての役割の強化が求められています。その一環として「福大の顔」を発刊し、大学人の研究内容の紹介を一般の方々にも分かり易く説明することに努めています。福島大学では、大学の物的・人的・知的資源を有効活用し、地域をはじめ世界で活躍できる人材育成に臨むことこそが、大学の機能強化・個性化であり、地域の存在感に繋がると考えています。

今後も、災害復興に関わる最新の教育・研究活動の情報を定期的に国内外に発信し続けます。そして、本学の創設以来の最大の危機を乗り越えて、「福島の地にほんとの空が戻る日」まで、福島の復旧・復興を支援し続けます。それらの活動を通じて、確かな力と行動力を持ちグローバル化が進展する社会で活躍できる各界のリーダーの育成を目指して、更なる努力を重ねる所存です。

新生福島大学宣言

福島大学は国立大学法人として，２学群４学類12学系の新制度として新たに出発しました。2005年４月，この新生福島大学に新入生を迎えるにあたり，福島大学の理念，教育，研究，社会貢献・地域貢献，大学運営の基本原則を宣言します。

福島大学の理念

(1)　自由・自治・自立の精神の尊重

福島大学は，自由，自治，自立の精神に基づき，大学の自律的運営が保障される高等教育機関として，その使命を果たします。

(2)　教育重視の人材育成大学

時代と社会のニーズに応える人材育成大学として社会に貢献する専門的職業人の育成をめざし，教育重視の大学として発展させていくとともに，市民に愛される大学として地域社会に密着する大学づくりを進めます。

(3)　文理融合の教育・研究の推進

人文科学，社会科学，自然科学の専門領域の旧来の枠組みのみにとらわれない文理融合の教育・研究を，柔軟な構造の下で推進します。

(4)　グローバルに考え地域とともに歩む

海外姉妹校と教育・研究交流協定を締結し，海外留学制度の充実・外国人留学生の受け入れと交流を進め，国際的視野を深める教育の充実に努めます。社会人を積極的に受け入れ，地域における学習機会を拡大し，地域社会における諸問題に関する教育・研究の発展に寄与します。

教育―知の継承・人材育成

(1)　自ら学び，主体的な人生設計と職業選択を行うことのできる自立した人間，社会に貢献し社会から評価される学生を育成するために，本学の少人数教育の伝統をさらに発展させ，きめ細かな教育を実践します。

(2)　文理融合の教育を推進し，キャリア形成教育及び就職支援指導を充実させ，広い視野と豊かな創造力を有する専門的職業人を育成します。

研究―知の創造

(1)　真理の探究に関わる基礎研究から科学技術と結合する目的型研究に至る卓越した知の創造に努め，新たな学術分野の開拓と技術移転や新産業の創出等，研究成果を積極的に社会に還元します。

(2)　人文，社会，自然科学の学問領域や，基礎と応用などの研究の性格の差異にかかわらず，構成員が学問の自由と自主的・自律的な協力・共同をもって研究を進める環境を整備します。また萌芽的研究や若手研究者の育成に努め，常に新しさに挑戦し個性を引き出す研究体制を構築します。

社会貢献・地域貢献―知の還元

(1)　大学が有する知的資源を積極的に地域社会に還元し，学術文化の継承発展とともに，教育・健康・福祉等生活基盤の整備充実に貢献します。そして東北・北関東の知の拠点として，世界に向けて発信していきます。

(2)　地域に存在感ある大学づくりを進めるため，地域社会への貢献にとどまらず，日本・世界への貢献にまで視野を広げ，さらに産官民学連携の活動を効果的に推進し，わが国の産業・経済・社会・教育・文化の持続的な発展に総合的に貢献します。

大学運営

(1)　大学の目標を達成するために，学生・院生，大学教職員，附属学校園教職員等全ての構成員が，男女共同参画の理念を踏まえ，それぞれの立場で大学の諸活動へ参画することを保障し，大学の民主的運営をめざします。全ての構成員は，相互に尊重し，大学の自治を発展させます。

(2)　大学運営において，高い透明性をもたせ，全構成員及び社会の信頼が得られるように十分な説明責任を果たします。

入戸野 2013 アクションプラン

◎教育

【教育の質を保証する体制の充実】

- 教育の質の向上を目指すために、「学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」及び「入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）」のそれぞれの実効性を高めるべく、各講義の教育目標との整合性を図り、教育の質を保証する体制の構築を目指します。
- 学生の学習環境をソフト・ハード両面で改善を図り、積極的に学生の自律的学習を支援します。

【附属学校園・大学・地域の連携強化】

- 附属学校園と大学と地域の教育委員会の協力連携を一層強化し、附属学校園の教育活動を通じて地域の教育のモデル校として地域貢献していきます。

【大学院研究科の教育体制の検討】

- 大学院教育の質を保証する教育体制の整備の一環として、「学位授与の方針」「教育課程編成・実施の方針」及び「入学者受入方針」の公開に取り組みます。また、グローバル化社会と社会・産業構造の変化を意識した各研究科の教育理念を検討し、新教育体制の整備に向けた実現可能な具体策を検討します。

【入試広報活動の積極的展開】

- 本学の教育課程の特徴を通じて、強化すべき学生の能力と人材像などに関する情報を公開し、入試広報活動を積極的に展開します。

◎研究活動

【基盤的研究活動の活性化】

- 個々の教員の基盤研究及び学系やグループによる効果的な学際的研究を推奨し、他大学・企業との協力連携を支援する体制を整備し、さらに、地域社会の振興に寄与する文理融合型研究活動を財政面で積極的に支援する体制を目指します。

【研究推進支援体制と研究成果の発信】

- 研究推進機構の活動機能の拡大を図るため、他機関との連携協力を促進し、また、教員の研究費の確保に向けた外部競争的資金、とりわけ科学研究費補助金の申請率・採択率の向上を目指す支援体制と研究環境の整備に努めます。
- 教員の論文等研究成果及びセンターや研究所の活動報告書等の学内成果物や各種資料について、学術機関リポジトリをプラットホームとして、社会に向けて積極的な情報発信を行います。

◎施設・キャンパス環境

【附属図書館の機能の充実】

- 附属図書館を中心とした施設を見直し、学術情報メディア棟構想の実現に向けた効率的な施設設備の整備計画を策定し、学生の自律的学習支援環境を充実します。

【キャンパス環境整備の充実】

- 学生・教職員が、安全に、また安心して学び働くことができる環境を確保するために、ハード・ソフトの両面でキャンパスの環境整備を推進します。さらに、引き続き放射線のモニタリングを徹底し、必要な対策を講じていきます。

◎学生支援

【経済的支援の拡大】

- 経済的に苦しい状況にある学生に対して、授業料減免、貸与型及び給付型奨学金等の手厚い支援を積極的に展開します。

【安全体制とメンタルケア対応の充実】

- 学生の安全・安心な学習・生活環境を確保するために、情報発信を含めた危機管理体制の一層の整備を図るとともに、学生のメンタル面での相談及び支援体制の整備を充実します。

【就職支援の充実】

- 学内外の団体・組織との連携を強化し、地域企業の説明会の実施拡大、企業情報・求人情報の収集・発信、交通費の援助、就職ガイダンス及びカウンセリング体制を充実します。

◎社会貢献/地域連携

【うつくしまふくしま未来支援センターによる支援活動推進】

- 建物の有効活用を図るとともに、新しい支援活動を展開するために、外部評価の意見を取り入れます。また、地域に対する活動成果について定期的に情報を発信します。

【公開講座の新展開と附属図書館等の地域開放】

- 生涯学習推進のために、地域住民を対象とした公開講座の新しい展開を図るとともに、大学の知的資源としての大学図書館等の利用促進のための開館体制等を含めた図書館機能の拡大を検討し、実現可能な事業から実施します。

【地域との連携による復興支援】

- 締結した地方自治体や企業及び他研究機関等との連携を強化し、社会ニーズを配慮した教育研究体制の見直しを含めた取り組みにより、地域社会の復興に向けた支援活動の活性化に努めます。

【アカデミア・コンソーシアムふくしま(ACF)による復興支援と教育活動】

- ACFの事務局を担当し、大学間連携共同教育推進事業「ふくしまの未来を拓く『強い人材』づくり共同教育プログラム」を展開し、福島の復興に関わる事業展開ばかりでなく、学生の基礎能力の質的保証と災害復興に関わる実践的な能力の習得を目指す各種の事業を構成メンバーの協働で実施します。

◎組織運営/情報発信/国際化

【環境放射能研究所を設置し活動開始】

- 環境放射能研究所を設立し、国立大学改革強化推進事業「環境放射能の動態と影響を解明する先端研究拠点の整備」を協力連携大学や国内外の研究機関とともに実施する準備を進めます。

【自己点検・自己評価と外部評価の実施】

- 教育研究の活性化に資するため、外部評価を実施し、評価結果を大学運営に活かします。

【国際交流センターの整備と充実】

- 教育の国際化に向けて、留学生の受け入れと日本人学生派遣（短期・長期）の交流活動を促進する組織体制を充実するとともに、発災後に増大した諸外国との学術研究交流等を促進する体制を整備し、世界に向けて大学及び復興支援活動に関する情報の発信に努めます。

【危機管理体制の整備の充実】

- 東日本大震災と原発事故後の２年間の経験を踏まえて、より実効性を高めたリスク管理体制と教育指導体制の整備を目指します。

沿　革　略

Chronology

明治 7.9 福島師範学校講習所
Fukushima Normal School

明治 9.1 福島師範伝習校
Fukushima Teachers Training School

明治 10.2 福島第一号師範学校
福島第二号師範学校
福島第三号師範学校
Fukushima 1 st Normal School
Fukushima 2 nd Normal School
Fukushima 3rd Normal School

明治 11.3 福島師範学校
Fukushima Normal School

明治 19.8 福島尋常師範学校
Fukushima Ordinary Normal School

明治 20.3 福島県尋常師範学校
Fukushima Prefectural Ordinary Normal School

明治 31.4 福島県師範学校
Fukushima Prefectural Normal School

大正 12.4 福島県女子師範学校
Fukushima Prefectural Women's Normal School

昭和 18.4 福島師範学校
Fukushima Normal School

大正 10.12 福島高等商業学校
Fukushima Higher Commercial School

昭和 19.4 福島経済専門学校
Fukushima College of Economics

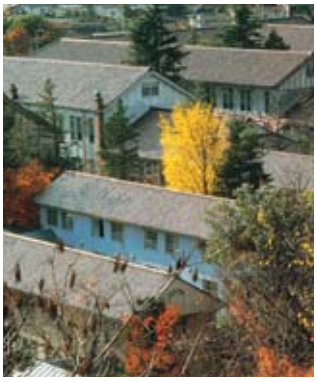
大正 9.10 福島県立実業補習学校教員養成所
Fukushima Prefectural Training Center for Supplementary Vocational School Teachers

昭和 10.4 福島県立青年学校教員養成所
Fukushima Prefectural Young Men's Training Center for School Teachers

昭和 19.4 福島青年師範学校
Fukushima Young Men's Normal School for School Teachers

福島大学
Fukushima University
昭和 24.5 設置
（平成16.4設立 国立大学法人）

旧浜田町キャンパス


旧森合キャンパス

1949（昭和24）年５月31日，法律第150号国立学校設置法により，福島師範学校・福島青年師範学校・福島経済専門学校の３校を包括して，学芸学部と経済学部の２学部を持つ福島大学が設置されました。

国立新制大学の入学者選抜は，第１期・第２期に分けて行われ，福島大学は第２期に行われました。選抜の結果，学芸学部293名（４年課程101名，２年課程192名），経済学部は161名の合計454名の入学が許可されました。

学芸学部には学芸部と教育部が置かれ，学芸部の中には人文科学科，社会科学科，自然科学科が，教育部の中には教育学科，教育心理学科，各科教育学科が置かれました。研究・教育の組織として全31講座が設けられました。

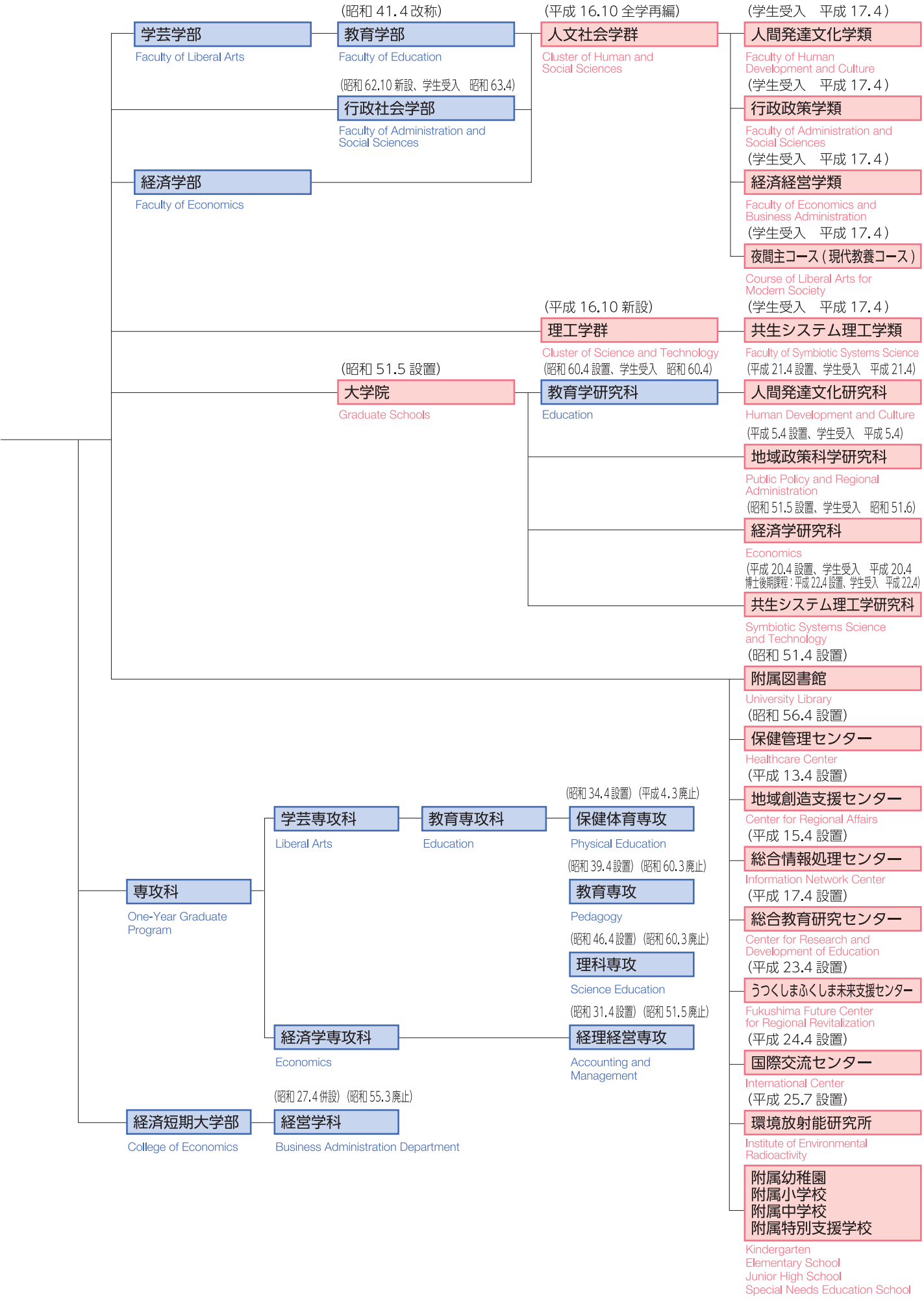
また経済学部には14講座が設けられました。

学芸学部は市内浜田町に，また経済学部は市内森合の２つのキャンパスに分散していたため，昭和54年に金谷川の地に統合移転しました。

昭和62年10月に行政社会学部を増設し，平成16年10月，国立大学法人化のなかで理工学群共生システム理工学類を創設し，新たな出発をしています。

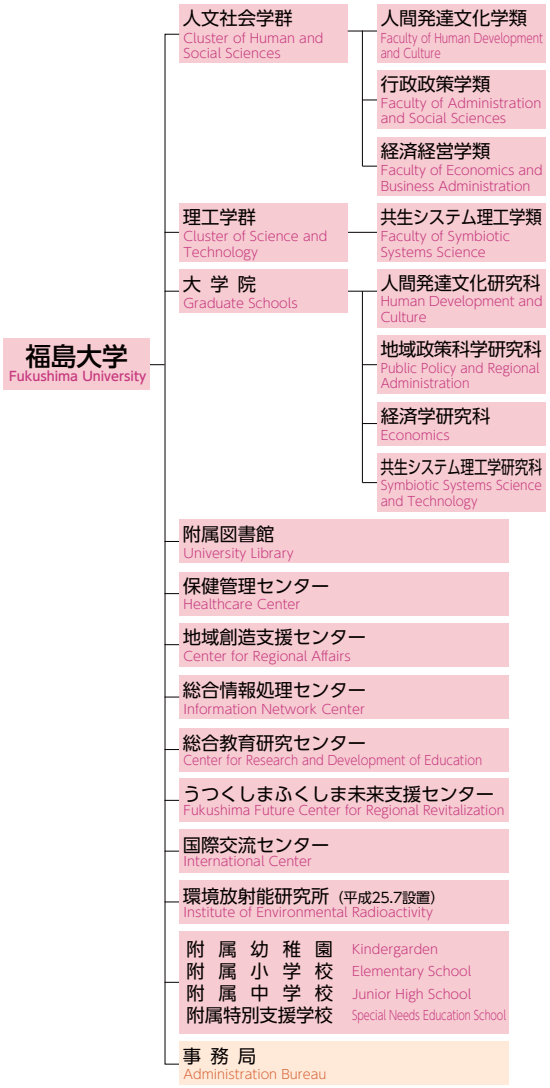
旧３学部を継承した３学類を人文社会学群としてくくり，理工学群とともに２学群４学類の教育組織を実現するとともに，全教員が参加する研究組織として12の学系を構築しました。また，人文社会学群には，伝統ある社会人教育を継承して，夜間主コース（「現代教養コース」）を有しています。大学院についても既存３研究科とともに，平成20年４月には大学院共生システム理工学研究科を発足させ，充実した教育・研究を推進しています。

移転当時の金谷川キャンパス


学芸学部
Faculty of Liberal Arts
(昭和 41.4 改称)
教育学部
Faculty of Education
(昭和 62.10 新設、学生受入　昭和 63.4)
行政社会学部
Faculty of Administration and Social Sciences
経済学部
Faculty of Economics
(平成 16.10 全学再編)
人文社会学群
Cluster of Human and Social Sciences
(学生受入　平成 17.4)
人間発達文化学類
Faculty of Human Development and Culture
(学生受入　平成 17.4)
行政政策学類
Faculty of Administration and Social Sciences
(学生受入　平成 17.4)
経済経営学類
Faculty of Economics and Business Administration
(学生受入　平成 17.4)
夜間主コース(現代教養コース)
Course of Liberal Arts for Modern Society
(平成 16.10 新設)
理工学群
Cluster of Science and Technology
(学生受入　平成 17.4)
共生システム理工学類
Faculty of Symbiotic Systems Science
(昭和 51.5 設置)
大学院
Graduate Schools
(昭和 60.4 設置、学生受入　昭和 60.4)
教育学研究科
Education
(平成 21.4 設置、学生受入　平成 21.4)
人間発達文化研究科
Human Development and Culture
(平成 5.4 設置、学生受入　平成 5.4)
地域政策科学研究科
Public Policy and Regional Administration
(昭和 51.5 設置、学生受入　昭和 51.6)
経済学研究科
Economics
(平成 20.4 設置、学生受入　平成 20.4
博士後期課程：平成 22.4 設置、学生受入　平成 22.4)
共生システム理工学研究科
Symbiotic Systems Science and Technology
(昭和 51.4 設置)
附属図書館
University Library
(昭和 56.4 設置)
保健管理センター
Healthcare Center
(平成 13.4 設置)
地域創造支援センター
Center for Regional Affairs
(平成 15.4 設置)
総合情報処理センター
Information Network Center
(平成 17.4 設置)
総合教育研究センター
Center for Research and Development of Education
(平成 23.4 設置)
うつくしまふくしま未来支援センター
Fukushima Future Center for Regional Revitalization
(平成 24.4 設置)
国際交流センター
International Center
(平成 25.7 設置)
環境放射能研究所
Institute of Environmental Radioactivity
附属幼稚園
附属小学校
附属中学校
附属特別支援学校
Kindergarten
Elementary School
Junior High School
Special Needs Education School
専攻科
One-Year Graduate Program
学芸専攻科
Liberal Arts
教育専攻科
Education
(昭和 34.4 設置)(平成 4.3 廃止)
保健体育専攻
Physical Education
(昭和 39.4 設置)(昭和 60.3 廃止)
教育専攻
Pedagogy
(昭和 46.4 設置)(昭和 60.3 廃止)
理科専攻
Science Education
経済学専攻科
Economics
(昭和 31.4 設置)(昭和 51.5 廃止)
経理経営専攻
Accounting and Management
経済短期大学部
College of Economics
(昭和 27.4 併設)(昭和 55.3 廃止)
経営学科
Business Administration Department

組織機構図

ORGANIZATION

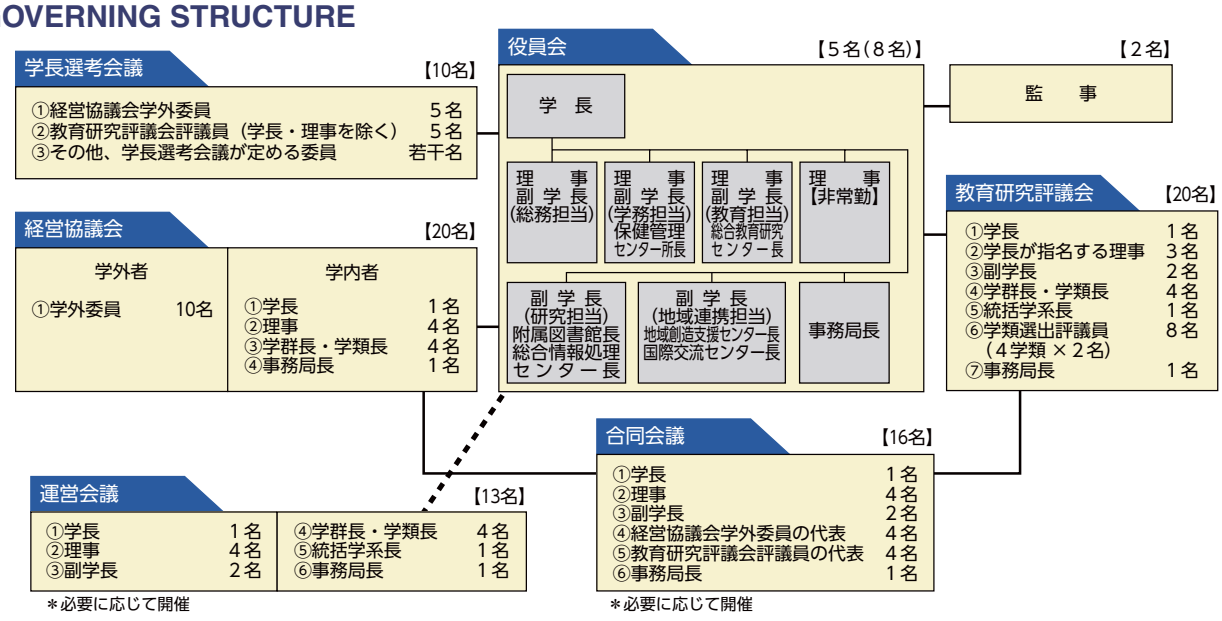


《事務組織図》

2013. 5. 1

運営組織図

GOVERNING STRUCTURE



学群・学類・夜間主コース・学系

EDUCATIONAL AND RESEARCH SYSTEMS

学群・学類（教育組織 Educational Systems）

福島大学では，平成16年10月より教育組織と研究組織を分離した「学群・学類・学系制」を導入した。これまでの教育，行政社会，経済の３学部を人文社会学群と理工学群に再編し，人文社会学群に人間発達文化，行政政策，経済経営の３学類，理工学群に共生システム理工学類を設置し，17年４月から学生受入を開始した。また，人文社会学群には夜間主コース（現代教養コース）を設置している。

人文社会学群 Cluster of Human and Social Sciences

人間発達文化学類 Faculty of Human Development and Culture

本学類は，人間の教育・発達とそれを支える文化の探究・創造に関心を持ち，直面する人間の教育・発達支援をめぐる現代的課題に積極的に貢献しようとする人材の育成を目的とする。学類はそうした多角的視点から人間の教育・発達支援に取り組む広義の教育者を養成するため，３専攻を置き教育を行う。すなわち，人間の教育・発達を深く理解し，その自立をサポートする教育的実践力と態度を育てる＜人間発達専攻＞，人間の教育・発達の基盤となる地域教育・文化に対する幅広い知識と現代的課題に挑む問題意識や探究力の形成をめざす＜文化探究専攻＞，人間の身体や感性の可能性を追求し，スポーツ・芸術を通して地域教育・文化を創造し人間発達の支援に貢献する＜スポーツ・芸術創造専攻＞である。

本学類では，学校教員を初めとし，社会の各分野で新時代をリードする教育関係者，人間発達の支援者を養成する。教員免許状は，長い伝統と実績を誇る旧教育学部時代とほぼ同様に，小学校・中学校・高等学校・幼稚園・特別支援学校教員免許状等を取得することができる。学生ひとり一人の課題意識や将来の志望にしたがい，それぞれ「学習クラス」に所属し，アドバイザー教員の支援を受けながら自らの意思による「自己カリキュラム」を組むことができる教育システムが学生教育の基本となっている。さらに，複数教員による手厚いサポート体制のもとで，学校教員をめざす人も，それだけでなく社会のさまざまな分野で活躍する広義の教育者・発達支援者をめざす人も，それぞれ，その志望に対応した実践的な学びを実現させる教育カリキュラムを整備している。

行政政策学類

Faculty of Administration and Social Sciences

本学類は法学・政治学と社会学を軸とする学際的な教育と研究を行うことによって「公共的な精神を有した地域社会の担い手を育成すること」を学類の教育目標に位置づけている。本学類は，法学専攻，地域と行政専攻，社会と文化専攻の３つの専攻を立て，専門性と学際性の両立をはかっている。

「地域主権」ともてはやされたものの，地方分権化が進む一方で，自治体の財政問題，少子高齢化，過疎化などの地域社会の課題は山積している。本学類（前身は行政社会学部）は，これまで多数の地方公務員（県職員，市町村職員），国家公務員（裁判所事務官，国税専門官を含む），公共部門の担い手，民間企業人等を輩出しており，グローバルな視点をもちながら，地域社会に根ざした優れた人材を育成している。

経済経営学類

Faculty of Economics and Business Administration

＜日本経済・地域経済に貢献する人材の育成＞という使命を，旧制福島高等商業学校以来90年の歴史と伝統を踏まえ，グローバル経済深化の条件下での本学類の存在意義として再定義している。「答えのない時代」において経済経営の基礎的素養をもちつつ主体的に問題解決に取り組む人材の育成が必要となっている。そのため以下のカリキュラムを編成している。経済経営の基礎知識（経済経営リテラシー）に関わる科目（統計情報処理，簿記，経済用語の基礎等）の必修化，調査や実習など実践重視，外国語教育の充実，演習・論文作成など少人数教育重視のきめ細かな履修指導などである。

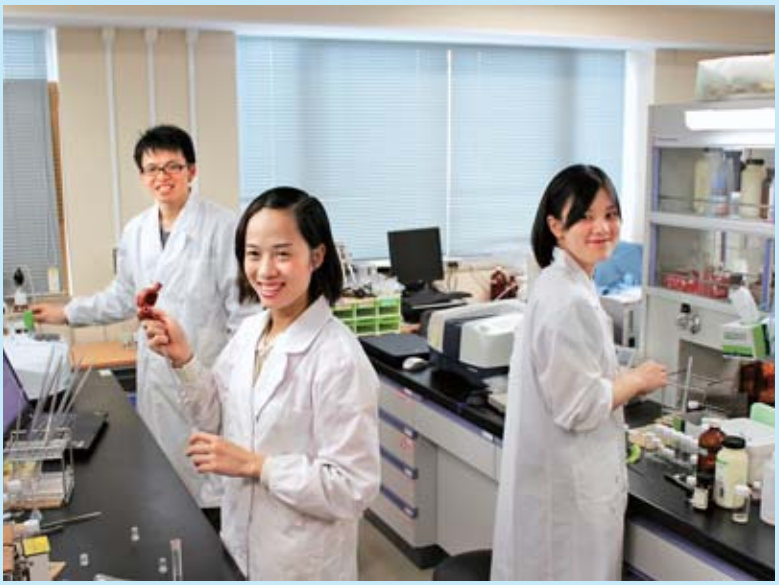
経済経営の基礎的学習の後，２年生後期から専攻と演習に所属する。３専攻は以下の通り。⑴経済分析のための理論と分析手法を身につける「経済分析専攻」，⑵地域経済・地域社会の諸問題を学ぶ〈地域経済政策コース〉と現代世界の共通性と多様性を学ぶ〈国際比較経済コース〉からなる「国際地域経済専攻」，⑶企業の経営戦略を実践的に身につける〈ビジネス・マネジメントコース〉と主として会計学を中心に学習する〈ビジネス・アカウンティングコース〉からなる「企業経営専攻」である。

夜間主コース（現代教養コース Course of Liberal Arts for Modern Society）

福島大学における社会人教育の実績と成果を踏まえて，社会人の新たな学習ニーズに対応するため，福島大学では，平成16年10月の全学再編を機に人文社会学群の夜間主コースとして「現代教養コース」が設置された。コースの中は，人間発達文化学類に対応する「文化教養モデル」，行政政策学類に対応する「法政策モデル」「コミュニティ共生モデル」，経済経営学類に対応する「ビジネス探究モデル」の，４つの履修モデルがある。学生は，一年次には３学類の教員が担当する３つの「教養演習」を受講し，さらに二年次には，４モデルに対応する４つの「基礎演習」を履修しつつ，いずれかのモデルを選択して学習する。履修基準は，緩やかに設定されており，昼間開講の開放科目など，原則として大学全体の科目の中から希望に応じて受講できる。

理工学群 Cluster of Science and Technology

共生システム理工学類 Faculty of Symbiotic Systems Science



共生システム理工学類は，21世紀の課題を解決し，私たちが安心・安全に生活するために，これまでの学問体系にはない理学－工学－人文社会科学を融合した「共生の科学・技術」の構築を目指している。既存の学問域を融合したシステム思考のもとに「人と環境の共生」・「人と産業の共生」・「産業と環境の共生」の３領域で教育研究を展開する。

「人間支援システム専攻」では，人理解を中心とした，人支援の科学を発展させる。「産業システム工学専攻」では，環境との共生を図り，持続循環型産業システム科学を発展させる。「環境システムマネジメント専攻」では，自然資源の保全・浄化・管理計画の科学を発展させる。また，本学類に対応した共生システム理工学研究科（修士課程）を2008（平成20）年４月に開設し，2010（平成22）年４月には博士後期課程の設置を行い，高度専門職業人・研究者の育成を目指している。

学　系 Researchers' Department（研究組織 Research System）

新制度設計のもとに教育組織は学類として，研究組織は学系として位置付けられた。現在，12の学系が存在し，各教員は自己の専門領域に応じていずれかの学系に所属し，研究活動に従事している。各教員は学系を基盤に日々研究交流を行っている。そして今日，大震災・原発事故後の地域社会の多様なニーズに応えることを重要課題として意識し，学系プロジェクトや多様なプロジェクトを通して自治体の再生や支援，農林漁業や製造業の復興・再生，学校・教育支援などに関わっている。

人間・心理学系　Human Sciences

多分野の研究者による共同プロジェクトを発足させ，人間存在の多角的・総合的な理解と，発達・教育・福祉の諸問題への有効な方策を探究する。

経 済 学 系　Economics

市場経済のシステムとパフォーマンス，世界経済・日本経済・地域経済の再生プログラム，グローバリゼーションと国民経済の変容を研究する。

文学・芸術学系　Arts and Literature

文学・美術・音楽の近・現代化の研究，東アジアの文化と教育の比較論的研究，まちづくりと芸術プロジェクトとの連携の研究などを進め，地域還元をする。

経 営 学 系　Business Administration

東日本大震災によって大きな影響を被った地域社会において，新たな産業を興し地域社会を再生するために「活力のある企業」が求められており，地域企業の活力を生み出すための各種研究と成果普及に取り組んでいる。

健康・運動学系　Health and Sports Sciences

現代を生きる全ての人間に必要不可欠な「身体リテラシー」に関して，スタッフの多様な専門性を生かし，研究と教育に取り組んでいる。

数理・情報学系　Mathematics and Information Technology

本学系では研究会を立ち上げ，お互いの研究内容を紹介したり，研究上の交流を深めている。また，プロジェクト研究として，地域における工場間の連携による産業活力創出について調査研究を予定している。

外国語・外国文化学系　Foreign Languages and Cultures

各国の言語・文化等について共同研究を追求し，個人研究も含めた成果を公表するとともに，地域還元の一環として地域社会の諸活動を支援する。

機械・電子学系　Mechanical and Electronics Engineering

メカトロニクス技術と心理学・生理学の知見を融合することにより，安全安心で快適な生活を実現するための新しいシステムを開発する。

法律・政治学系　Law and Politics

地域行政組織や社会的諸集団が直面する再編と改革の課題や新たな地域での役割と在り様に関して，地域研究団体と協力して総合的研究を行う。

物質・エネルギー学系　Materials and Energy Sciences

材料・資源・エネルギーの観点から，機能性物質の創製および応用研究を行うとともに，地域の技術者・研究者との産官学連携も目指す。

社会・歴史学系　History and Society

「地域社会の総合的研究」。社会学，歴史学の方法で，地域社会の構造と変動につき研究する。共同研究を行い，成果は地域社会と共有したい。

生命・環境学系　Life and Environmental Sciences

生命の多様性に関する研究，自然環境や人間活動の総体としての社会環境に関する研究などを通して豊かな環境を形成する方法の構築を目指す。

研　究　科

GRADUATE SCHOOLS

人間発達文化研究科　Graduate School of Human Development and Culture

人間発達文化研究科は，多様な現代的教育課題に対応するため，今日，必要とされる高度な知識・技術を持って人材育成を促進させる＜人材育成のエキスパート＞を養成していくことを目的とする。同研究科は３専攻・９領域から構成されている。具体的には，教職教育専攻では学校教育領域，カリキュラム開発領域が置かれ，いわゆる教職大学院の機能をも視野に入れ，地域に開かれた学校において多様なリソースを活用できる＜エキスパート教員＞を養成する。次に，地域文化創造専攻には，日英言語文化領域，地域生活文化領域，数理科学領域，スポーツ健康科学領域，芸術文化領域が置かれる。同専攻では，修士レベルの文化的専門性を基盤に地域社会の多様な諸課題を解決するために必要な学際的コーディネート力を獲得し，さらにその力を次世代の創出に不可欠な人材育成力へと連動させる＜地域支援エキスパート＞を養成する。そして，学校臨床心理専攻には，臨床心理領域，学校福祉臨床領域が置かれ，自立支援・発達支援・社会支援の専門的知識とスキルを持つ＜発達支援エキスパート＞を養成する。いずれの専攻も学類からの進学者の教育とともに，県教育委員会の協力のもと現職教員研修の場としても機能し地域社会に貢献する。とくに，学校臨床心理専攻では昼夜開講制をとり，郡山市，いわき市，会津若松市に開設される遠隔教室を活用し社会人を含め多くの学生が研究を進めている。

地域政策科学研究科　Graduate School of Public Policy and Regional Administration

地域政策科学研究科は行政社会学部を基礎として，1993(平成５)年４月に開設。地域政策科学専攻の中に有機的科目群からなる５履修分野(地方行政，社会経済法，行政基礎法，社会計画，地域文化)を設け，行政政策学類の教育・研究の学際性を継承して，個別の学問分野では捉えきれない地域社会の諸問題に多角的な視点でアプローチし，様々な問題の解決方法を探究することを目的とする。

地域の社会的要請に対応しうる高度でユニークな大学院教育の達成を期するため，社会人特別選抜・社会人特別推薦選抜や昼夜開講制の導入，さらに，長期履修制度，一年修了型カリキュラム等，社会人の再教育，生涯教育を大学院にまで広げ，地域社会が求める総合的な政策の展開を図れる人材を育成する。

2012(平成24)年度からは現代的課題について体系的に研究するための「政策課題プログラム(権利擁護・災害復興・文化資源)」を開講し，災害復興については立教大学池袋キャンパス内に「東京サテライト」を開設し，首都圏在住のまま３・11東日本大震災以降の〈ふくしま〉の復興について研究できる体制を整えた。

経済学研究科　Graduate School of Economics

経済学研究科は経済学・経営学の専門知識の習得と研究能力の養成を目指している。経済学専攻・経営学専攻の２専攻・４コースから成る。

2013年度から「地域産業復興プログラム」「会計税務プログラム」を新たに開始した。前者は放射能災害からの農業復興を主題としたもので「ふくしま未来食・農」プログラムとして文科省より支援を受け世界的にも前例のないカリキュラムとなっている。後者はより長期的な人材育成を目標として東北税理士会など地元の支援を受けつつ地域経済復興に寄与することを目指している。同時に，修士論文を必修の修了要件とはしないより実践的な履修モデルを設定した。この履修モデルは企業などに勤めている社会人がレポート作成や調査などの実習を積み重ね，職業経験・実務経験などと関連した特定課題について研究レポートを作成して修了する特徴をもち「実務家・特定課題研究」モデルと呼ぶ。修士論文を執筆するモデルと並んでおり，適性に応じてどちらかの履修モデルを選択できる。そのほか，社会人のニーズに応え，郡山教室の開講や，昼夜開講体制，長期履修制度も整備し，ビジネス・経済分野の最前線で活躍されている外部講師による講義科目の充実も図っている。

共生システム理工学研究科　Graduate School of Symbiotic Systems Science and Technology

共生システム理工学研究科は，人・産業・環境の共生を新たな枠組みの学問体系で捉えるシステム科学を基盤とし，21世紀の複雑な課題の解決に実践的に貢献できる高度専門職業人・研究者を育成することを目標に掲げて，2008年(平成20年)４月に，共生システム理工学専攻の中に５分野(人間・機械システム，産業システム，環境システム，数理・情報科学，物質科学)を設けて開設し，2012(平成24)年度には，独立行政法人産業総合研究所と連携し，再生可能エネルギーの開発やエネルギー資源の需要・供給解析に関する科目群「再生可能エネルギー」分野を開設している。

2010(平成22)年４月から，博士後期課程を開設し，３領域(共生機械システム，産業共生システム，環境共生システム)を設けて，それぞれの分野・領域の連携や実務家等を入れた研究プロジェクトの実施を通じて，新たな課題の解決に対応できる実践的な人材を育成する教育研究体制を採用している。

学内施設等

RESEARCH FACILITIES

附属図書館 UNIVERSITY LIBRARY

蔵 書 数 BOOKS AND PERIODICALS

2013. 3. 31

和書 Domestic	洋書 Foreign	計 Total	雑誌 Periodicals		
			和書 Domestic	洋書 Foreign	計 Total
650,463	230,985	881,448	10,985	3,072	14,057

平成24年度利用状況 UTILIZATION

区分 Division	人数 Persons		冊数 Volumes	
	年間 per year	一日平均 per day	年間 per year	一日平均 per day
館外貸出 Loan	16,548	49.5	46,804	140.1
学類学生 Undergraduates	11,738	35.1	33,620	100.7
大学院学生 Graduate Students	1,100	3.3	4,517	13.5
教職員 Faculty and Staff	3,245	9.7	6,838	20.5
学外者 External Users	465	1.4	1,829	5.5
入館者数 Number of Visitors	213,498	639.2		

開館日数 334日 Open 334 days
(内土曜日 45日) Saturday 45 days
(内日曜日 47日) Sunday 47 days

主なコレクション MAIN COLLECTION

震災関連資料コーナー
Earthquake disaster related materials corner

東日本大震災の関連資料をはじめ，震災を原発・ボランティア・郷土・教育・科学・防災・産業など多様な観点から扱った資料を配置。
図書・雑誌・視聴覚資料など2013年３月現在約2,000点。

文 庫 Book collections

大塚久雄文庫 The Hisao Otsuka Collection

故大塚久雄先生旧蔵の図書・雑誌・資料を受贈。その数，合わせて図書6,058冊，雑誌約212タイトル，抜刷約1,682点，その他，ノート，原稿，講演テープ，色紙，写真，住所録等個人資料一山。

今野源八郎旧蔵書 The Genpachiro Konno Collection

故今野源八郎先生旧蔵の図書・雑誌・資料を受贈。その数，和洋合わせて図書4,455冊，雑誌294タイトル，資料13,553点，その他，パンフレット，リーフレット，地図，抜刷，コピーなど一山。その他，藤本文庫，藤田文庫，栗原文庫，二宮文庫，大森文庫，川村重和教授旧蔵書，松井秀親教授旧蔵書，三宅皓士教授旧蔵書，岡本友孝教授旧蔵書，佐藤恒久教授旧蔵書，珠玖拓治教授旧蔵書，下平尾勲名誉教授旧蔵書等。

大型コレクション Large collection

〔19～20世紀ロシア・ソビエト研究稀覯資料集〕
19th–20th century Russian and Soviet rare materials collection

〔ロシア帝国・ソビエト連邦法令集〕
Collection of laws and ordinances of the Russian Empire and Soviet Union

〔帝政ロシア及び現代ソビエト社会・経済研究 第１部，同第２部〕
Imperial Russian government and contemporary Soviet society: Economic research part 1 and 2

〔体育教育の歴史〕
A collection of rare books in the history of physical education.EDUCATION FOR HEALTH & PUBLIC WELFARE; from the "survival of the fittest" to "fitting the many to survive"

附属図書館
University Library

閲 覧 室
Open Stack Reading Room

保健管理センター　Healthcare Center

1981(昭56)年４月に設置され，1982(昭57)年３月に専用の建物が竣工。同年４月より本格的に業務が開始された。本センターでは，学生および教職員の健康の保持増進を図るために，保健管理に関する専門業務を行っている。具体的には，保健管理計画の企画及び立案，定期及び臨時の健康診断，精神的及び身体的健康相談，外傷･急病の応急処置，カウンセリングなどである。

地域創造支援センター(CERA)　Center for Regional Affairs

2001(平13)年４月に大学における研究や教育の成果等の知的財産を地域の活性化や広い専門分野にわたる優れた人材の育成に役立てていくことを目的として設置された本センターは，2008(平20)年４月より，教育面における社会貢献である「生涯学習活動」を推進するために1995(平７)年４月に設置された生涯学習教育研究センターと統合し，新たな地域創造支援センターとして生まれ変わった。

新たな知の創造を目指して地域と大学との協働･連携を推進するセンターとして，共同・受託研究，技術・経営相談，地域活性化フォーラムの開催，地域の経済社会に関する調査研究及び資料収集などを組織的に行うとともに市民向けに開講する「公開講座」や正規授業を市民一般にも開放する「公開授業」に関する全体的な企画運営や広報及び自治体が計画する講座事業への助言や学内教員の派遣等も行っている。また，松川事件関係資料など貴重な資料を保有し，公開している。

総合情報処理センター　Information Network Center

総合情報処理センターは，1969(昭44)年に学内共同利用施設「計算センター」としてスタートした。その後，1987(昭62)年に学術研究・情報教育の高度化・多様化，社会における一層の情報化進展に対応するために，「情報処理センター」に改組，さらに2003(平15)年には教育研究・地域連携のための情報発信など多様な役割を担うべく省令施設に格上げされ，「総合情報処理センター」となった。

本センターは，５つの演習室と自習用のコーナーに300台を超えるパソコンが設置されており，「情報処理教育の場」・「自己学習スペース」として利用されているとともに，「情報処理システム及びキャンパスネットワーク(FAINS)の運用・管理」，「本学の認証基盤となる全学認証システムの運用・管理」，「情報システムの利用についての技術指導」などの業務を行っている。

総合教育研究センター　Center for Research and Development of Education

旧教育学部附属教育実践総合センターを拡充・改組して，「教育改革に関する調査・研究を行うとともに，本学の教育活動及び教育支援活動を総合的に支援する」ことを目的に，2005(平17)年４月に設置され2006(平18)年に教職履修・FD部門が開設されセンターの運営体制を確立した。2012(平24)年４月より実態に即した組織改編(センター長→教育担当副学長兼任，FD部門→高等教育開発部門，キャリア開発教育研究部門→キャリア研究部門，教育企画室→廃止)を行った。

本センターは，高等教育開発，キャリア研究，教職履修，教育相談(附属臨床心理･教育相談室を併設)，現職研修の５部門体制となり，「教育活動の質の維持・向上・改善」，「キャリア開発及び就職支援」，「全学の教師志望者への支援」，「教育現場等からの教育相談」，「現職教職員研修及び学校教育関係機関との連携」など全学関係部署と連携した業務を行っている。

うつくしまふくしま未来支援センター　Fukushima Future Center for Regional Revitalization

東日本大震災や福島第一原子力発電所事故により世界的に知れ渡るところとなった福島の住民は，困難を乗り越え，被災地を復旧・復興させていくという強い意志を持って立ち上がっている。

地域と共に歩んできた福島大学は，こうした人々とともに力を合わせ，長期に及ぶ復旧・復興に組織的に対応するため，平成23年４月に「うつくしまふくしま未来支援センター」を設立した。

本センターでは，自治体等と協力しながら，

・被災したこども・若者たちの学びや自立への支援
・地域コミュニティの再生と地域産業の復興への支援
・汚染された自然環境の回復への支援
・新たな可能性を持つ再生可能エネルギーに関する取組への支援

などを行う。

さらに，双葉郡川内村や南相馬市にもサテライトを設置し，地域に密着した支援活動を展開している。

国際交流センター　Fukushima University International Center

福島大学国際交流センターは，海外の大学等との学術交流及び学生交流の企画・推進，留学生教育の企画立案及び教育研究面での国際交流を図ることを目的として，平成24年４月に設立された。留学生の派遣及び受入れ，短期留学プログラムの企画・立案，留学生の修学上及び生活上，修学環境の整備及び充実に関するサポートを行っている。具体的には，学生の留学や国際交流活動についての相談，留学生の奨学金や在留資格，地域でのイベント等についての案内や手続き業務がある。

日本人学生が留学や語学検定試験を受験する際に参考となる図書や，留学生が日本語や日本文化を学ぶための図書，英文書籍の閲覧スペースを設置しており，書籍の貸出も行っている。

環境放射能研究所（平成25．７設置）　Institute of Environmental Radioactivity

本研究所は福島第一原子力発電所事故により放出された放射性物質の長期にわたる影響を調査・研究し，環境放射能の動態を科学的に解明することを目的に設置する施設で，本学として初めての附属の研究所である（平成25年７月設置）。この研究所は，福島大学のみにとどまらず，国内外の実績ある大学や研究機関との互いの強みを生かした連携と協力に基づく共同運営を行い，その英知を結集して環境放射能に関する先端研究拠点となることを目指している。

開所当初は，放射線医学総合研究所，筑波大学，東京海洋大学，広島大学，長崎大学，福島県立医科大学と協力し，

・河川・湖沼の放射性物質の長期的な動態調査
・森林の放射性物質の長期的な動態調査
・海洋の放射性物質の長期的な動態調査

のプロジェクト研究を行う。

研究活動により明らかにされる環境放射能科学の体系化は，うつくしまふくしま未来支援センター等を通じて支援活動へ活用されることが期待できる。

学術刊行物

ACADEMIC PUBLICATIONS

2013. 5. 1

部局等 Division	刊行物名 Name	年発行回数 Issues per year
福島大学 Fukushima University	福島大学研究年報 Annual Report of Fukushima University	1 回
人間発達文化学類 Faculty of Human Development and Culture	福島大学人間発達文化学類論集(人文科学部門) Bulletin of The Faculty of Human Development and Culture (Liberal Arts)	2 回
	〃 (社会科学部門) (Social Sciences)	2 回
	〃 (教育・心理学部門) (Education･Psychology)	2 回
	〃 (自然科学部門) (Natural Sciences)	2 回
行政政策学類 Faculty of Administration and Social Sciences	行政社会論集 The Journal of Administration and Social Sciences	4 回
経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration	商学論集 Journal of Commerce, Economics and Economic History	4 回
保健管理センター Healthcare Center	福島大学保健管理センター紀要 Bulletin of the Healthcare Center	1 回
地域創造支援センター Center for Regional Affairs	地域創造支援センター年報 Annual Report of Center for Regional Affairs	1 回
	福島大学地域創造 Fukushima University Journal of Regional Affairs	2 回
総合教育研究センター Center for Research and Development of Education	総合教育研究センター紀要 Bulletin of Center for Research and Development of Education	2 回

サテライト等

SATELLITE ETC.

街なかブランチ舟場　Machinaka Branch FUNABA

街なかブランチ舟場は，平成21年10月１日，福島市舟場町の職員会館を改修し，教職員の福利厚生施設及び地域との連携を推進する拠点施設として設置され，以下の事業を行っている。

●地域社会，地域住民の福祉・文化の向上を支援
　○地域の皆様を対象とした公開講座やセミナーなどを開講
　○地域の皆様からの臨床心理・教育相談に対応
●地域振興・産業の振興を支援
　○産業界や地域との共同研究などを実施
　○技術相談・経営相談などに対応
　○産学連携研究会・産学連携セミナーを実施

サテライト教室　Satellite Lecture Rooms

大学院・人間発達文化研究科(学校臨床心理専攻)のみ昼夜開講制を行っている。夜間(火～木：午後６時以降)は遠隔授業(双方向のテレビ会議システム)を利用した授業を開講しており、科目等履修生としての受講も可能。
遠隔授業は、郡山市(ビッグアイ)、会津若松市(東公民館)、いわき市(生涯学習プラザ)で行う。
地域政策科学研究科では、東京サテライト校での授業を開講している。

CERAリエゾン・オフィス　CERA Liaison Office

福島市内の「街なかブランチ舟場」にリエゾン･オフィスを設け，福島大学と地域社会との間により密接な連携・協働・交流関係を築く場所として，『産・官・民・学』連携を目指し，リエゾン(橋渡し)活動を行う。

福島大学東京連絡事務所(東京都渋谷区)
Fukushima University Tokyo Liaison Office (Shibuya Ward, Tokyo)

本学学生が首都圏での就職活動やゼミ活動の連絡場所として，また，入試広報等の活動拠点とする目的のため，福島大学信陵同窓会東京信陵会「信陵会館」内に平成18年４月１日に開設。

喜多方市産学官連携室(喜多方市熱塩加納総合支所)
Kitakata Industry, Government and Academic Liaison Chamber (Atsushio-kanou General Branch Office of Kitakata City)

喜多方市との協定に基づき，産学官連携事業，地域産業の振興，産業人材の育成事業等の目的のため喜多方市熱塩加納総合支所(住所：喜多方市熱塩加納町相田字大森5000)にある「産学官連携室」を県内の大学等で利用している。

歴代学長

PRESIDENTS

西　沢　喜洋芽 NISHIZAWA Kiyome		昭24. 5.31 May. 31, 1949	～	昭29. 2.17 Feb. 17, 1954
阿　部　久　次 ABE Kyuji		昭29. 2.17 Feb. 17, 1954	～	昭32. 2.16 Feb. 16, 1957
阿　部　久　次 ABE Kyuji		昭32. 2.17 Feb. 17, 1957	～	昭35. 2.16 Feb. 16, 1960
阿　部　久　次 ABE Kyuji		昭35. 2.17 Feb. 17, 1960	～	昭37.10.30 Oct. 30, 1962
服　部　英太郎 HATTORI Eitaro		昭37.10.30 Oct. 30, 1962	～	昭40.10.29 Oct. 29, 1965
服　部　英太郎 HATTORI Eitaro		昭40.10.30 Oct. 30, 1965	～	昭40.12.20 Dec. 20, 1965
平　井　　博 HIRAI Hiroshi	(事務取扱) (acting)	昭40.12.20 Dec. 20, 1965	～	昭41. 2.18 Feb. 18, 1966
海　後　勝　雄 KAIGO Katsuo		昭41. 2.18 Feb. 18, 1966	～	昭43.10.15 Oct. 15, 1968
玉　山　　勇 TAMAYAMA Isamu	(事務取扱) (acting)	昭43.10.15 Oct. 15, 1968	～	昭44.12. 4 Dec. 4, 1969
野　村　正　次 NOMURA Masaji	(事務取扱) (acting)	昭44.12. 4 Dec. 4, 1969	～	昭46. 3.31 Mar. 31, 1971
安　田　初　雄 YASUDA Hatsuo	(事務取扱) (acting)	昭46. 4. 1 Apr. 1, 1971	～	昭48. 2.16 Feb. 16, 1973
玉　山　　勇 TAMAYAMA Isamu		昭48. 2.16 Feb. 16, 1973	～	昭51. 2.15 Feb. 15, 1976
渡　辺　源次郎 WATANABE Genjiro		昭51. 2.16 Feb. 16, 1976	～	昭54. 2.15 Feb. 15, 1979
渡　辺　源次郎 WATANABE Genjiro		昭54. 2.16 Feb. 16, 1979	～	昭56. 2.15 Feb. 15, 1981
伊　藤　巳喜夫 ITO Mikio		昭56. 2.16 Feb. 16, 1981	～	昭59. 2.15 Feb. 15, 1984
山　田　　舜 YAMADA Akira		昭59. 2.16 Feb. 16, 1984	～	昭62. 2.15 Feb. 15, 1987
山　田　　舜 YAMADA Akira		昭62. 2.16 Feb. 16, 1987	～	平元. 2.15 Feb. 15, 1989
篠　笥　憲　爾 SASAKI Kenji		平元. 2.16 Feb. 16, 1989	～	平4. 2.15 Feb. 15, 1992
星　埜　　惇 HOSHINO Atsushi		平4. 2.16 Feb. 16, 1992	～	平7. 2.15 Feb. 15, 1995
吉　原　泰　助 YOSHIHARA Taisuke		平7. 2.16 Feb. 16, 1995	～	平10. 2.15 Feb. 15, 1998
吉　原　泰　助 YOSHIHARA Taisuke		平10. 2.16 Feb. 16, 1998	～	平12. 2.15 Feb. 15, 2000
吉　原　泰　助 YOSHIHARA Taisuke		平12. 2.16 Feb. 16, 2000	～	平14. 2.15 Feb. 15, 2002
臼　井　嘉　一 USUI Yoshikazu		平14. 2.16 Feb. 16, 2002	～	平18. 3.31 Mar. 31, 2006
今　野　順　夫 KONNO Toshio		平18. 4. 1 Apr. 1, 2006	～	平22. 3.31 Mar. 31, 2010
入戸野　　修 NITTONO Osamu		平22. 4. 1 Apr. 1, 2010	～	

役　職　員

ADMINISTRATORS

2013. 5. 1

学　　長　President	入戸野　　修	NITTONO Osamu
理事・副学長(総務担当)　Executive Director ・ Vice President (General Affairs)	功　刀　俊　洋	KUNUGI Toshihiro
理事・副学長(学務担当)　Executive Director ・ Vice President (Academic Affairs) 保健管理センター所長　Director, Healthcare Center	工　藤　孝　幾	KUDOU Kouki
理事・副学長(教育担当)　Executive Director ・ Vice President (Educational Affairs) 総合教育研究センター長　Director, Center for Research and Development of Education	飯　島　充　男	IIJIMA Mitsuo
理　　事　Executive Director	青　柳　隆　夫	AOYAGI Takao
監　　事　Auditor	平　山　健　一	HIRAYAMA Kenichi
監　　事　Auditor	高　橋　宏　和	TAKAHASHI Hirokazu
副学長(研究担当)　Vice President (Research Affairs) 附属図書館長　Director, University Library 総合情報処理センター長　Director, Information Network Center	髙　橋　隆　行	TAKAHASHI Takayuki
副学長(地域連携担当)　Vice President (Regional Affairs) 地域創造支援センター長　Director, Center for Regional Affairs 国際交流センター長　Director, International Center	小　沢　喜　仁	OZAWA Yoshihito
うつくしまふくしま未来支援センター長　Director, Fukushima Future Center for Regional Revitalization	中　井　勝　己	NAKAI Katsumi
人文社会学群長　Provost, Cluster of Human and Social Sciences	千　葉　養　伍	CHIBA Yogo
人間発達文化学類長　Dean, Faculty of Human Development and Culture	千　葉　養　伍	CHIBA Yogo
行政政策学類長　Dean, Faculty of Administration and Social Sciences	中　川　伸　二	NAKAGAWA Shinji
経済経営学類長　Dean, Faculty of Economics and Business Administration	真　田　哲　也	SANADA Tetsuya
理工学群長　Provost, Cluster of Science and Technology	石　原　　正	ISHIHARA Tadashi
共生システム理工学類長　Dean, Faculty of Symbiotic Systems Science	石　原　　正	ISHIHARA Tadashi
統括学系長　Chair, Researchers' Department	小　島　　彰	KOJIMA Akira
附属幼稚園長　Kindergarten Principal	浜　島　京　子	HAMAJIMA Kyoko
附属小学校長　Elementary School Principal	菅　家　礼　子	KANKE Reiko
附属中学校長　Junior High School Principal	嶋　津　武　仁	SHIMAZU Takehito
附属特別支援学校長　Special Needs Education School Principal	鈴　木　裕美子	SUZUKI Yumiko

事務局長 Director General	中村信一	NAKAMURA Shinichi
役員室長 Chief, Executive Unit	南　俊二	MINAMI Shunji
評価室長 Chief, Assessment Unit	野内　正	NOUCHI Tadashi
監査室長 Chief, Auditing Unit	三木　武	MIKI Takeshi
総務課長 Chief, General Affairs Division	渡邊真一	WATANABE Shinichi
人事課長 Chief, Personnel Division	菅野芳昭	KANNO Yoshiaki
財務課長 Chief, Financial Affairs Division	落合祐二	OCHIAI Yuji
施設課長 Chief, Facilities Division	菅原眞琴	SUGAWARA Makoto
教務課長 Chief, Educational Affairs Division	上野圭三	UENO Keizo
学生課長 Chief, Student Affairs Division	今井賢司	IMAI Kenji
就職支援室長 Chief, Employment Support Unit	齋藤正廣	SAITO Masahiro
入試課長 Chief, Admissions Office	荒木昌美	ARAKI Masami
研究協力課長 Chief, Research Collaboration Division	荒木正寛	ARAKI Masahiro
地域連携課長 Chief, Regional Collaboration Division	大和田雄司	OWADA Yuji
学術情報課長 Chief, Academic Information Division	武内由美	TAKEUCHI Yumi

経営協議会委員

MANAGEMENT COUNCIL

2013. 5. 1

学外委員		
菅野典雄	福島県相馬郡飯舘村長	KANNO Norio
菊池　稔	福島市政策推進部長	KIKUCHI Minoru
髙地英夫	前福島県病院事業管理者・前公立大学法人福島県立医科大学理事長	KOCHI Hideo
佐々木正峰	公益財団法人文化財建造物保存技術協会理事長・元文化庁長官	SASAKI Masamine
杉原陸夫	財団法人福島県青少年育成・男女共生推進機構理事長・元福島県教育長	SUGIHARA Rikuo
田原博人	前福島大学監事・元宇都宮大学長	TABARA Hiroto
富田孝志	前財団法人福島県文化振興事業団理事長・元福島県教育長	TOMITA Takashi
福井邦顕	日本全薬工業株式会社代表取締役会長・福島県経営者協会連合会会長	FUKUI Kuniaki
森合正典	福島県企画調整部長	MORIAI Masanori
山崎捷子	株式会社ホテル・ニューパレス代表取締役会長・国際女性教育振興会会長	YAMAZAKI Shoko
学内委員		
入戸野　修	学長	NITTONO Osamu
功刀俊洋	理事・副学長(総務担当)	KUNUGI Toshihiro
工藤孝幾	理事・副学長(学務担当)・保健管理センター所長	KUDOU Kouki
飯島充男	理事・副学長(教育担当)・総合教育研究センター長	IIJIMA Mitsuo
青柳隆夫	理事	AOYAGI Takao
千葉養伍	人間発達文化学類長	CHIBA Yogo
中川伸二	行政政策学類長	NAKAGAWA Shinji
真田哲也	経済経営学類長	SANADA Tetsuya
石原　正	共生システム理工学類長	ISHIHARA Tadashi
中村信一	事務局長	NAKAMURA Shinichi

教育研究評議会評議員

EDUCATION AND RESEARCHI COUNCIL

2013. 5. 1

入戸野　修	学長	NITTONO Osamu
功刀俊洋	理事・副学長(総務担当)	KUNUGI Toshihiro
工藤孝幾	理事・副学長(学務担当)・保健管理センター所長	KUDOU Kouki
飯島充男	理事・副学長(教育担当)・総合教育研究センター長	IIJIMA Mitsuo
髙橋隆行	副学長(研究担当)・附属図書館長・総合情報処理センター長	TAKAHASHI Takayuki
小沢喜仁	副学長(地域連携担当)・地域創造支援センター長・国際交流センター長	OZAWA Yoshihito
千葉養伍	人間発達文化学類長	CHIBA Yogo
中川伸二	行政政策学類長	NAKAGAWA Shinji
真田哲也	経済経営学類長	SANADA Tetsuya
石原　正	共生システム理工学類長	ISHIHARA Tadashi
中村信一	事務局長	NAKAMURA Shinichi
小島　彰	統括学系長	KOJIMA Akira
三浦浩喜	人間発達文化学類	MIURA Hiroki
松下行則	人間発達文化学類	MATSUSHITA Yukinori
富田　哲	行政政策学類	TOMITA Tetsu
新村繁文	行政政策学類	NIIMURA Shigefumi
手代木有兒	経済経営学類	TESHIROGI Yuji
阿部高樹	経済経営学類	ABE Takaki
董　彦文	共生システム理工学類	DONG Yanwen
二見亮弘	共生システム理工学類	FUTAMI Ryoko

収入・支出決算額(平成24年度)

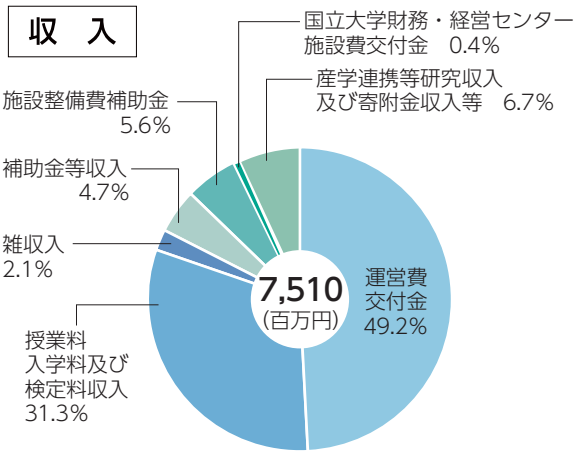
※金額は表示単位未満切捨てのため、必ずしも合計は一致しない。

CLOSING ACCOUNTS : REVENUE AND EXPENDITURE 2012

収　入 REVENUE

(百万円)

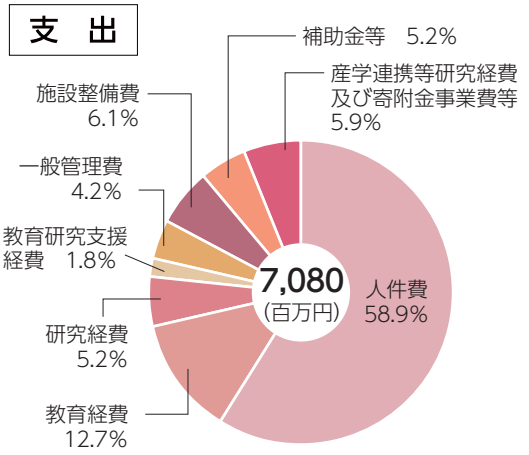
区分 Division of Revenue	[24年度] Amount [2012]	[23年度] (参考) Amount [2011] (Ref.)
運営費交付金 Total Grant for Management Expense	3,693	3,486
授業料，入学料及び検定料収入 Tuition and Examination Fees	2,352	2,400
雑収入 Miscellaneous Income	158	139
補助金等収入 Subsidy Income	353	439
施設整備費補助金 Subsidies for Maintenance of University Facilities	416	249
国立大学財務・経営センター施設費交付金 Grant-in-Aid from CUFM (Center for National University Finance and Management) for facilities maintenance	30	30
産学連携等研究収入及び寄附金収入等 Income from Industry-University Cooperative Research and Donations	505	474
引当金取崩 Reserve Fund Reversal	—	1
目的積立金取崩 Purpose Reserve Fund Reversal	—	—
合計 Total	7,510	7,218



支　出 EXPENDITURE

(百万円)

区分 Division of Expenditure	[24年度] Amount [2012]	[23年度] (参考) Amount [2011] (Ref.)
人件費 Personal Expenses	4,170	4,259
教育経費 Education Expenses	900	557
研究経費 Research Expenses	366	427
教育研究支援経費 Expenses for Supporting Education and Research	130	367
一般管理費 Administrative Expenses	295	276
施設整備費 Supplies and Equipment Cost	432	294
補助金等 Subsidy	368	439
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等 Budget for Industry-University Cooperative Research and Funding	417	361
合計 Total	7,080	6,980

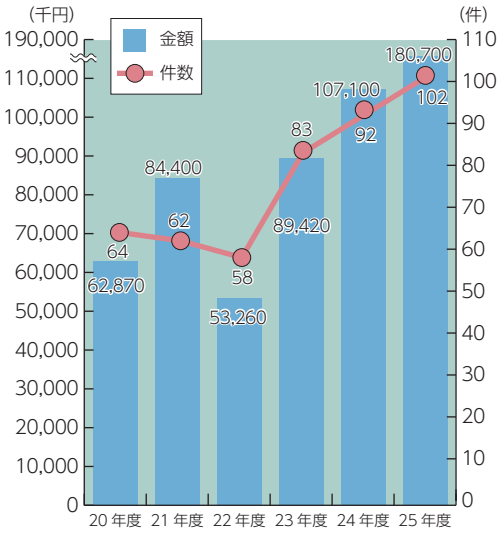


科学研究費助成事業

GRANT-IN-AID FOR SCIENTIFIC RESEARCH

平成25年度 Fiscal Year 2013

研究種目 Research Category	内定件数 Number	直接経費(千円) Direct Expenses (in thousand yen)	間接経費(千円) Indirect Expenses (in thousand yen)
基盤研究(S) Scientific Research (S)	1	64,500	19,350
基盤研究(A) Scientific Research (A)	1	9,600	2,880
基盤研究(B) Scientific Research (B)	5	20,000	6,000
基盤研究(C) Scientific Research (C)	53	43,700	13,110
挑戦的萌芽研究 Challenging Exploratory Research	10	10,900	3,270
若手研究(A) Young Scientists (A)	2	6,000	1,800
若手研究(B) Young Scientists (B)	26	22,200	6,660
研究活動スタート支援 Research Activity Start-up	4	3,800	1,140
研究成果公開促進費(学術図書) Publication of Scientific Research Results (Scientific Literature)	0	0	0
合計 Total	102	180,700	54,210



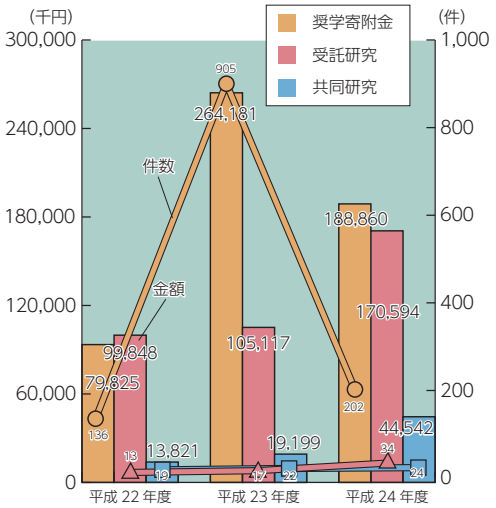
＊年度途中の転入・転出は含まない
＊年度繰越分は含まない
＊間接経費は含まない

外部資金

FUNDS FROM OTHER SOURCES

平成24年度 Fiscal Year 2012

研究種目 Subject for Research	件数 Number	金額(千円) Amount
奨学寄附金 Grants and Endowments	202	188,860
受託研究 Contract Research	34	170,594
共同研究 Cooperative Research	24	44,542
合計 Total	260	403,996



国際交流

INTERNATIONAL ACADEMIC EXCHANGE AGREEMENTS

2013. 5. 1

国名 Nations	大学名 University	締結年月日 Effective Since	更新年月日 Amendment
中華人民共和国 People's Republic of China	北京師範大学 Beijing Normal University	1990年12月11日 Dec. 11, 1990	
中華人民共和国 People's Republic of China	華東師範大学 East China Normal University	1995年7月1日 Jul. 1, 1995	
中華人民共和国 People's Republic of China	河北大学 Hebei University	1998年11月2日 Nov. 2, 1998	2007年3月1日 Mar. 1, 2007
中華人民共和国 People's Republic of China	中南財経政法大学 Zhongnan University of Economics and Law	2001年3月22日 Mar. 22, 2001	
中華人民共和国 People's Republic of China	西南交通大学 Southwest Jiaotong University	2011年9月1日 Sep. 1, 2011	
アメリカ合衆国 United States of America	ウィスコンシン大学オークレア校 University of Wisconsin Eau Claire	1992年12月8日 Dec. 8, 1992	
アメリカ合衆国 United States of America	ミドルテネシー州立大学 Middle Tennessee State University	1996年7月2日 Jul. 2, 1996	2011年6月7日 Jun. 7, 2011
アメリカ合衆国 United States of America	アルバニー大学 University at Albany,State University of New York	2012年12月26日 Dec. 26, 2012	
アメリカ合衆国 United States of America	コロラド州立大学 Colorado State University	2013年6月3日 Jun. 3, 2013	
ベトナム社会主義共和国 Socialist Republic of Vietnam	ベトナム国家大学ハノイ人文社会科学大学 Vietnam National University Hanoi College of Social Sciences and Humanities	2001年6月20日 Jun. 20, 2001	2011年3月14日 Mar. 14, 2011
ベトナム社会主義共和国 Socialist Republic of Vietnam	ベトナム国家大学ハノイ自然科学大学 Vietnam National University Hanoi College of Science	2007年9月24日 Sep. 24, 2007	
オーストラリア Australia	クイーンズランド大学 The University of Queensland	2001年10月26日 Oct. 26, 2001	2007年10月30日 Oct. 30, 2007
大韓民国 Republic of Korea	韓国外国語大学校 Hankuk University of Foreign Studies	2006年3月14日 Mar. 14, 2006	2011年1月27日 Jan. 27, 2011
大韓民国 Republic of Korea	白石大学校・白石文化大学 Beakseok University and Beakseok Culture University	2008年12月8日 Dec. 8, 2008	
大韓民国 Republic of Korea	ソウル市立大学校 University of Seoul	2011年1月27日 Jan. 27, 2011	
台湾 Taiwan	国立台北大学 National Taipei University	2007年4月3日 Apr. 3, 2007	
英国 The United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland	スターリング大学 University of Stirling	2008年1月25日 Jan. 25, 2008	
英国 The United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland	ウィンチェスター大学 The University of Winchester	2010年5月29日 May. 29, 2010	
ドイツ連邦共和国 Federal Republic of Germany	ルール大学ボーフム Ruhr-Universität Bochum	2009年10月8日 Oct. 8, 2009	
ルーマニア Romania	ブカレスト大学 University of Bucharest	2011年12月22日 Dec. 22, 2011	
ベラルーシ共和国 Republic of Belarus	ベラルーシ国立大学 Belarusian State University	2012年2月24日 Feb. 2, 2012	

学生交流協定校における交換留学 Student Exchanges

年度 Year	派遣大学 Dispatched to	人数 Number of Students	派遣元大学(受入れ) Received from	人数 Number of Students
25 2013	河北大学 Hebei University	1	河北大学 Hebei University	5
	華東師範大学 East China Normal Universty	2		
	韓国外国語大学校 Hankuk University of Foreign Studies	1		
	クィーンズランド大学 The University of Queensland	0		
	ミドルテネシー州立大学 Middle Tennessee State University	1		
	ルール大学ボーフム Ruhr-Universität Bochum	3		
	ブカレスト大学 University of Bucharest	1		

学生交流協定校における短期プログラム Short-term Programs

2012.4.1～2013.3.31

年度 Year	派遣大学 Dispatched to	人数 Number of Students	派遣元大学(受入れ) Received from	人数 Number of Students
24 2012	クイーンズランド大学 The University of Queensland	16	ミドルテネシー州立大学 Middle Tennessee State University	10
	ソウル市立大学 University of Seoul	2	アルバニー大学 University at Albany,State University of New York	9

役職員数

NUMBER OF FACULTY AND STAFF

2013.5.1

区分 Division ＼ 職種 Job Classification	役員 Directors 学長 President	理事・副学長 Vice President	監事 Auditor	教授 Professors	准教授 Associate Professors	講師 Lecturers	助教 Assistant Professors	助手 Instructors	計 Sub Total	附属学校教員 Teachers of Special School	事務系職員 Administration Officers	合計 Total
現員 Number of Regular Staff	1	4*1	2*2	133	94	3	1	1	239	83	135	457
役員 Number of Present Staff	1	4*1	2*2						7			7
人間発達文化学類 Faculty of Human Development and Culture				50	24	1			75			75
行政政策学類 Faculty of Administration and Social Sciences				23	21	1	1	1	47			47
経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration				28	24	1			53			53
共生システム理工学類 Faculty of Symbiotic Systems Science				28	21				49			49
附属図書館 University Library												0
保健管理センター Healthcare Center				1	1				2			2
地域創造支援センター Center for Regional Affairs					1				1			1
総合情報処理センター Information Network Center					1				1			1
総合教育研究センター Center for Research and Development of Education				3	1				4			4
うつくしまふくしま未来支援センター Fukushima Future Center for Regional Revitalization												0
国際交流センター International Center												0
附属幼稚園 Kindergarten										4		4
附属小学校 Elementary School										30		30
附属中学校 Junior High School										22		22
附属特別支援学校 Special Needs Education School										27		27
事務局 Administration Bureau											135*3	135

＊1　うち1名は非常勤理事　　＊2　監事は非常勤　　＊3　各部局等に配置される職員を含む

入学志願者及び入学者

NUMBER OF APPLICANTS AND ENROLLED STUDENTS

学群・学類 UNDERGRADUATES

2013.5.1

学群・学類 Cluster・Faculty ＼ 年度 Year		25 2013
人文社会学群 Cluster of Human and Social Sciences 人間発達文化学類 Faculty of Human Development and Culture	入学志願者 Number of Applicants	1,335
	入学者 Number of Students Admitted	289
行政政策学類 Faculty of Administration and Social Sciences	入学志願者 Number of Applicants	927
	入学者 Number of Students Admitted	225
経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration	入学志願者 Number of Applicants	888
	入学者 Number of Students Admitted	234
夜間主コース(現代教養コース) Course of Liberal Arts for Modern Society	入学志願者 Number of Applicants	106
	入学者 Number of Students Admitted	66
計 Sub Total	入学志願者 Number of Applicants	3,256
	入学者 Number of Students Admitted	814
理工学群 Cluster of Science and Technology 共生システム理工学類 Faculty of Symbiotic Systems Science	入学志願者 Number of Applicants	1,016
	入学者 Number of Students Admitted	189
計 Sub Total	入学志願者 Number of Applicants	1,016
	入学者 Number of Students Admitted	189
合計 Total	入学志願者 Number of Applicants	4,272
	入学者 Number of Students Admitted	1,003

大学院(修士課程及び博士前期課程) GRADUATE SCHOOL

2013.5.1

研究科 Graduate School ＼ 年度 Year		21 2009	22 2010	23 2011	24 2012	25 2013
人間発達文化研究科 Human Development and Culture	入学志願者 Number of Applicants	94	96	83	73	70
	入学者 Number of Students Admitted	51	45	44	43	45
教育学研究科 Education	入学志願者 Number of Applicants					
	入学者 Number of Students Admitted					
地域政策科学研究科 Public Policy and Regional Administration	入学志願者 Number of Applicants	25	24	17	22	22
	入学者 Number of Students Admitted	21	18	12	20	15
経済学研究科 Economics	入学志願者 Number of Applicants	32	30	34	27	21
	入学者 Number of Students Admitted	22	21	20	16	16
共生システム理工学研究科 Symbiotic Systems Science and Technology 4月期入学	入学志願者 Number of Applicants	75	73	63	60	52
	入学者 Number of Students Admitted	63	54	54	47	41
10月期入学	入学志願者 Number of Applicants				5	未実施
	入学者 Number of Students Admitted				4	
合計 Total	入学志願者 Number of Applicants	226	223	197	182	170
	入学者 Number of Students Admitted	157	138	130	126	121

大学院(博士後期課程) GRADUATE SCHOOL

2013.5.1

研究科 Graduate School ＼ 年度 Year		21 2009	22 2010	23 2011	24 2012	25 2013
共生システム理工学研究科 Symbiotic Systems Science and Technology	入学志願者 Number of Applicants		12	12	9	11
	入学者 Number of Students Admitted		11	10	7	8
合計 Total	入学志願者 Number of Applicants		12	12	9	11
	入学者 Number of Students Admitted		11	10	7	8

※　編入学・学士入学は除く。
※　外国人留学生を含む。

学生の定員及び現員

NUMBER OF STUDENTS

学群・学類　UNDERGRADUATES

2013.5.1

区分 Classification / 学群・学類 Cluster・Faculty	課程及び学科 Course or Department	入学定員 Annual Quota for New Applicants	収容定員 Standard Student Capacity	現員 Present Number of Students 1年 1st year	2年 2nd year	3年 3rd year	4年 4th year	合計 Total	
人文社会学群 Cluster of Human and Social Sciences		765 ㉚	3,060 ㊿	434 380	444 368	442 402	480 476	1,800 1,626	3,426
	人間発達文化学類 Faculty of Human Development and Culture	270 ⑩	1,080 ⑳	101 188	122 165	97 195	131 198	451 746	1,197
	行政政策学類 Faculty or Administration and Social Sciences	210 ⑩	840 ⑳	129 96	120 104	142 103	131 124	522 427	949
	経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration	225 ⑩	900 ⑳	168 66	174 69	161 79	175 108	678 322	1,000
	夜間主コース(現代教養コース) Course of Liberal Arts for Modern Society	60	240	36 30	28 30	42 25	43 46	149 131	280
理工学群 Cluster of Science and Technology		180	720	148 41	144 36	149 37	189 33	630 147	777
	共生システム理工学類 Faculty of Symbiotic Systems Science	180	720	148 41	144 36	149 37	189 33	630 147	777
合計 Total		945 ㉚	3,780 ㊿	582 421	588 404	591 439	669 509	2,430 1,773	4,203

※　平成16.10全学再編により，教育学部・行政社会学部・経済学部を人文社会学群(人間発達文化学類・行政政策学類・経済経営学類)に改組，理工学群(共生システム理工学類)を新設(平成17．4学年受入)。
※　○は3年次編入学生定員で外数(人文社会学群：平成19．4～)。
※　平成24年度から教育学部・行政社会学部・経済学部は在籍している学生がいない為，廃止。
※　黒文字は男子，赤文字は女子。

大学院(修士課程・博士課程)　GRADUATE SCHOOLS

2013.5.1

研究科名 Graduate School	専攻名 Majors	課程名 Course	入学定員 Annual Quota for New Applicants	収容定員 Standard Student Capacity	現員 Present Number of Students
人間発達文化研究科 Human Development and Culture	教職教育専攻 Teacher Development	修士課程 Master	11	22	14 15
	地域文化創造専攻 Creation of Regional Culture	修士課程 Master	20	40	18 21
	学校臨床心理専攻 School and clinical Psychology	修士課程 Master	9	18	7 17
地域政策科学研究科 Public Policy and Regional adoministration	地域政策科学専攻 Public Policy and Region Administration	修士課程 Master	20	40	28 17
経済学研究科 Economics	経済学専攻 Economics	修士課程 Master	12	24	16 5
	経営学専攻 Business Administration	修士課程 Master	10	20	21 4
共生システム理工学研究科 Symbiotic Systems Science and Technology	共生システム理工学専攻 Symbiotic Systems Science and Technology	修士課程 Master			2 0
		博士前期課程 Master	60	120	86 15
		博士後期課程 Doctor	6	18	25 6
合計 Total			148	302	217 100

※　教育学研究科は，平成24年度から在籍している学生がいない為，廃止。
※　黒文字は男子，赤文字は女子。

卒業生数及び修了生数

NUMBER OF GRADUATES

2013.5.1

区分 Classification / 学群・学類・学部 Cluster・Faculty	課程及び学科 Course or Department	25〜19 1950〜2007	20 2008	21 2009	22 2010	23 2011	24 2012	計 Total
人文社会学群 Cluster of Human and Social Sciences			770	768	815	829	816	3,998
人間発達文化学類 Faculty of Human Development and Culture			291	282	289	282	285	1,429
	人間発達専攻 Human Development		132	131	128	122	120	633
	文化探究専攻 Cultural Exploration		95	90	102	108	103	498
	スポーツ・芸術創造専攻 Sports and Arts		64	61	59	52	62	298
行政政策学類 Faculty of Administration and Social Sciences			212	223	219	230	229	1,113
	法学専攻 Law		66	78	73	88	59	364
	地域と行政専攻 Community Management		94	106	105	104	141	550
	社会と文化専攻 Social and Cultural Studies		52	39	41	38	29	199
経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration			217	206	248	255	247	1,173
	経済分析専攻 Economic Analysis		28	30	39	41	46	184
	国際地域経済専攻 International and Regional Economy		62	68	92	101	107	430
	企業経営専攻 Business Administration		127	108	117	113	94	559
夜間主コース(現代教養コース) Course of Liberal Arts for Modern Society			50	57	59	62	55	283
	文化教養モデル Culture and Liberal Arts		12	8	16	14	8	58
	法政策モデル Law and Policy		11	14	7	8	11	51
	コミュニティ共生モデル Community Building and Preservation		10	14	14	20	19	77
	ビジネス探究モデル Business		17	21	22	20	17	97
理工学群 Cluster of Science and Technology			155	144	199	191	187	876
共生システム理工学類 Faculty of Symbiotic Systems Science			155	144	199	191	187	876
	人間支援システム専攻 Human Support System		45	44	71	63	68	291
	産業システム工学専攻 Industrial System		61	45	71	77	68	322
	環境システムマネジメント専攻 Environmental System Management		49	55	57	51	51	263
教育学部 Faculty Education		21,226	25	11	2			21,264
小学校教員養成課程 Elementary School Teachers Course		9,338						9,338
中学校教員養成課程 Junior High School Teachers Course		5,222						5,222
養護学校教員養成課程 Teachers Course for Mentally and Physically Handicapped Children		485						485
幼稚園教員養成課程 Kindergarten Teachers Course		590						590
生涯教育課程 Department of Lifelong Education		821	9	5				835
学校教育教員養成課程 Department of Teacher Training		1,313	16	6	2			1,337
特別教科(理科)教員養成課程 Senior High School Teachers Course (Science Education)		601						601
特別教科(保健体育)教員養成課程 Senior High School Teachers Course (Physical Education)		1,188						1,188
その他 Others		7						7
2年課程 Two Year Courses	小学校教員養成課程 Elementary School Teachers Course	1,004	(昭和33年学生募集停止)					1,004
	中学校教員養成課程 Junior High School Teachers Course	657						657

2013.5.1

区分 Classification / 学群・学類・学部 Cluster・Faculty		課程及び学科 Course or Department	25～19 1950～2007	20 2008	21 2009	22 2010	23 2011	24 2012	計 Total
行政社会学部 Faculty of Administration and Social Sciences			4,508	30	10	3	3		4,554
	昼間主コース Daytime-centered Courses	行政学科 Law and Administration Department	2,441	20	6	2			2,469
		応用社会学科 Sociology and Social Sciences Department	1,052	3	1	1	1		1,058
	夜間主コース Evening-centered Courses	行政学科 Law and Administration Department	614	3	2		1		620
		応用社会学科 Sociology and Social Sciences Department	401	4	1		1		407
経済学部 Faculty of Economics			15,306	34	10	2	1		15,353
	昼間主コース Daytime-centered Courses	経済学科 Economics Department	6,211						6,211
		経営学科 Business Administration Department	4,197						4,197
		現代経済課程 Contemporary Economics Course	825	10	2		1		838
		企業経営課程 Business Management Course	1,191	9	4	2			1,206
		国際経済社会課程 International Economics and Society Course	590	6	3				599
		産業情報工学課程 Industrial Economics Engineering Course	150	1					151
	夜間主コース Evening-centered Courses	経済学科 Economics Department	919						919
		経営学科 Business Administration Department	717						717
		現代経済課程 Contemporary Economics Course	202	3					205
		企業経営課程 Business Management Course	304	5	1				310
短大 Junior College		経営学科 Business Administration Department	2,116	(昭和55年3月廃止)					2,116
合計 Total			43,156	1,014	943	1,021	1,024	1,003	48,161

※　生涯教育課程は平成７年４月設置。
※　小学校教員養成課程，中学校教員養成課程，養護学校教員養成課程及び幼稚園養成課程は平成11年度から学生募集停止。
※　経済学部経済・経営両学科は平成８年度から学生募集停止。
※　平成16.10全学再編により，教育学部・行政社会学部・経済学部を人文社会学群（人間発達文化学類・行政政策学類・経済経営学類）に改組，理工学群（共生システム理工学類）を新設（平成17．4学生受入）
※　平成24年度から教育学部・行政社会学部・経済学部は在籍している学生がいない為，廃止。

専　攻　科　ONE-YEAR GRADUATE PROGRAM

専攻 Course / 修了年度 Year		31～3 1956～1991
教育専攻科 Education	保健体育専攻 Physical Education	30
	教育専攻 Pedagogy	8
	理科専攻 Science Education	19
経済学専攻科 Economics	経理経営専攻 Acounting and Management	24

大　学　院　GRADUATE SCHOOL

科・課程 Course / 修了・卒業年度 Year		52～18 1977～2006	19 2007	20 2008	21 2009	22 2010	23 2011	24 2012	計 Total
人間発達文化研究科 Human Development and Culture	修士課程 Master					40	38	37	115
教育学研究科 Education	修士課程 Master	603	45	30	32	6	3		719
地域政策科学研究科 Public Policy and Regional adominstration	修士課程 Master	183	9	11	10	15	18	13	259
経済学研究科 Economics	修士課程 Master	244	16	13	15	17	15	16	336
共生システム理工学研究科 Symbiotic Systems Science and Technology	修士課程 Master				22	57	5		84
	博士前期課程 Master						44	45	89
	博士後期課程 Doctor							3	3

※　教育学研究科は，平成24年度から在籍している学生がいない為，廃止。

卒業生就職状況

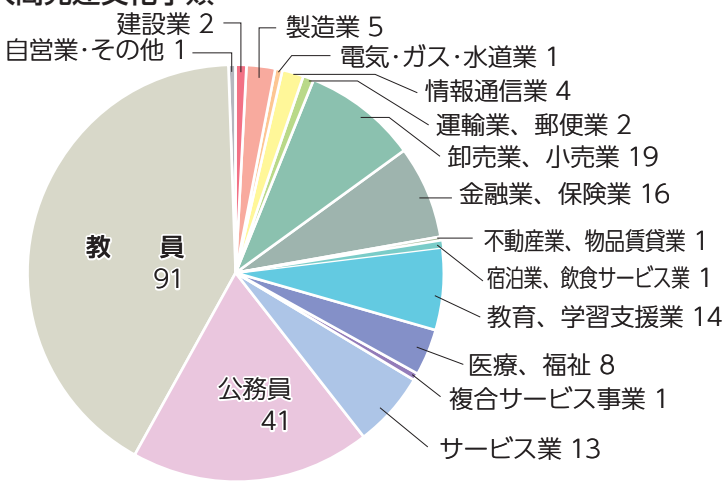
EMPLOYMENT AFTER GRADUATION

2013.5.1

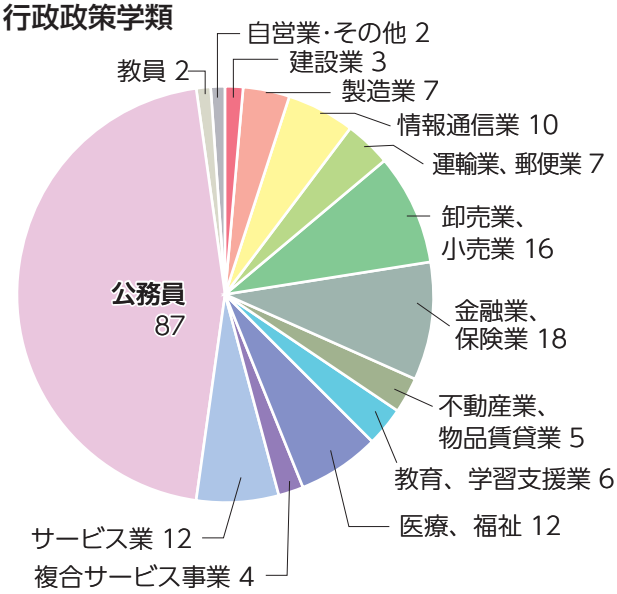
区分 Classification ＼ 学類 Faculty	人間発達文化学類 Faculty of Human Development and Culture	計 Sub Total	行政政策学類 Faculty of Administration and Social Sciences	計 Sub Total	経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration	計 Sub Total	夜間主コース(現代教養コース) Course of Liberal Arts for Modern Society	計 Sub Total	共生システム理工学類 Faculty of Symbiotic Systems Science	計 Sub Total	合計 Total	
卒業者 Total Graduates	94 191	285	124 105	229	157 90	247	31 24	55	138 49	187	544 459	1,003
就職者 Total Employed	68 152	220	102 89	191	130 81	211	19 15	34	79 27	106	398 364	762
農・漁・鉱業 Agriculture・Fishing・Mining Industries	0 0	0	0 0	0	0 0	0	0 0	0	0 0	0	0 0	0
建設業 Construction	2 0	2	1 2	3	1 3	4	1 0	1	2 2	4	7 7	14
製造業 Manufacturing	0 5	5	5 2	7	10 8	18	1 2	3	16 3	19	32 20	52
電気･ガス･水道業 Public Services	1 0	1	0 0	0	2 0	2	0 0	0	0 0	0	3 0	3
情報通信業 Communication	0 4	4	5 5	10	11 3	14	1 1	2	10 4	14	27 17	44
運輸業、郵便業 Transportation、Postal Service	2 0	2	5 2	7	8 2	10	0 0	0	4 1	5	19 5	24
卸売業、小売業 Retail	5 14	19	8 8	16	12 13	25	5 2	7	8 2	10	38 39	77
金融業、保険業 Banking、Insurance	3 13	16	7 11	18	24 23	47	4 4	8	4 3	7	42 54	96
不動産業、物品賃貸業 Real Estate、Rental Services	1 0	1	2 3	5	3 2	5	0 0	0	0 0	0	6 5	11
宿泊業、飲食サービス業 Accommodation、Food Services	0 1	1	0 0	0	2 2	4	0 0	0	0 1	1	2 4	6
教育、学習支援業 Education、Learning Support	9 5	14	2 4	6	0 0	0	0 0	0	1 3	4	12 12	24
医療、福祉 Medical、Welfare	3 5	8	5 7	12	2 5	7	0 3	3	3 1	4	13 21	34
複合サービス事業 Service-sector Corporations	0 1	1	3 1	4	2 2	4	0 0	0	1 0	1	6 4	10
サービス業 Service Industry	5 8	13	7 5	12	15 1	16	4 1	5	3 1	4	34 16	50
公務員 Public Services	11 30	41	49 38	87	38 17	55	3 2	5	20 3	23	121 90	211
教員 Teaching	26 65	91	1 1	2	0 0	0	0 0	0	5 3	8	32 69	101
自営業･その他 Self-Employment・Others	0 1	1	2 0	2	0 0	0	0 0	0	2 0	2	4 1	5
未定 Undetermined	5 7	12	6 3	9	5 1	6	1 2	3	9 0	9	26 13	39
進学者等 Furthering Studies	9 18	27	3 4	7	3 4	7	0 1	1	39 16	55	54 43	97
公務員等希望者 Preparing for Civil Exams	10 12	22	11 7	18	12 0	12	1 1	2	8 4	12	42 24	66
有職者 Already Employed	0 0	0	0 0	0	0 0	0	7 4	11	0 0	0	7 4	11
その他 Others	2 2	4	2 2	4	7 4	11	3 1	4	3 2	5	17 11	28
就職率(%) Total Employment Rate	93.2 95.6	94.8	94.4 96.7	95.5	96.3 98.8	97.2	95.0 88.2	91.9	89.8 100.0	92.2	93.9 96.6	95.1

※ 上段(黒)は男子，下段(赤)は女子。
※ 就職率(%)＝就職者÷就職希望者(就職者+未定)

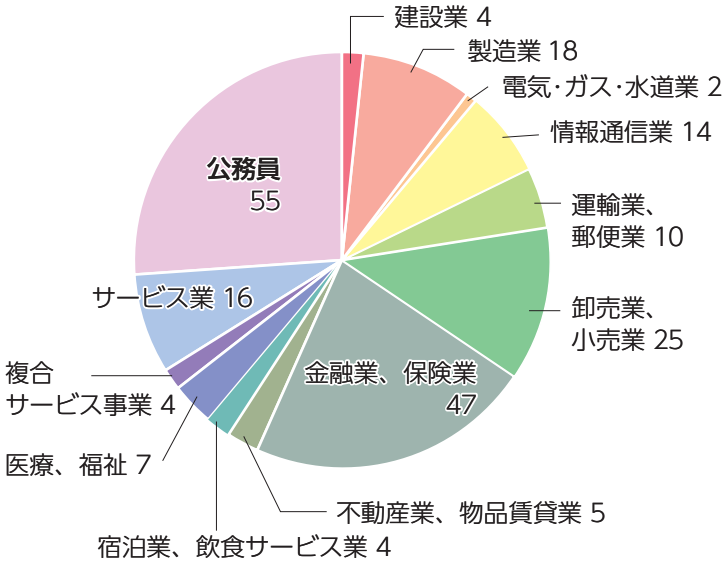
人間発達文化学類



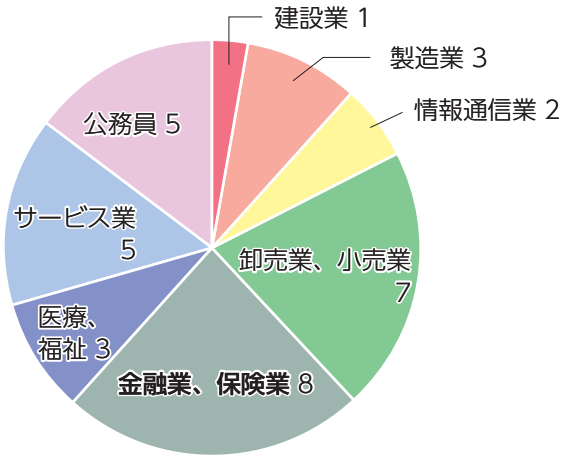
行政政策学類



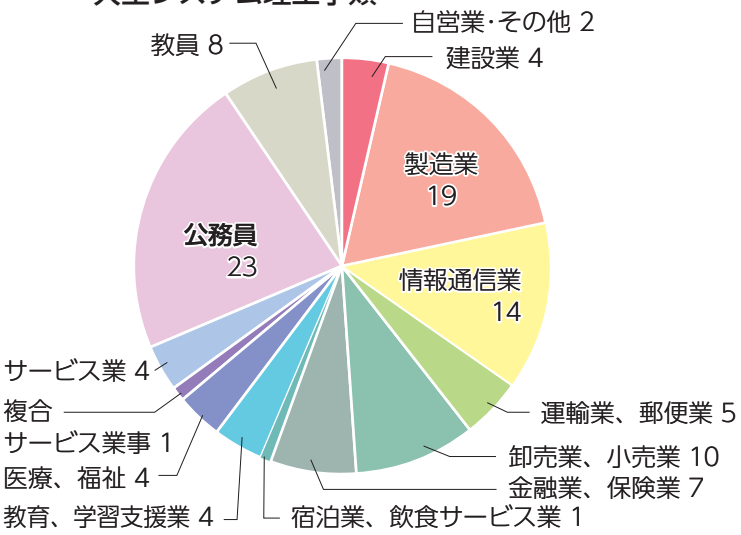
経済経営学類

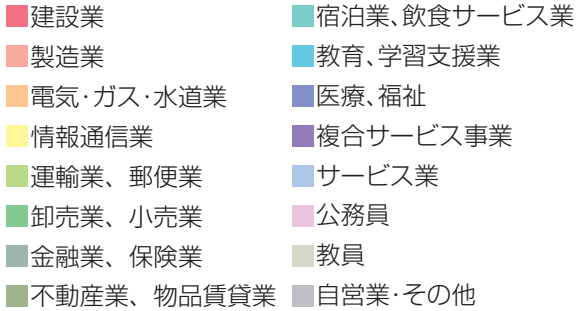


夜間主コース（現代教養コース）



共生システム理工学類





外国人留学生数

NUMBER OF INTERNATIONAL STUDENTS

留学生数部局別内訳　FACULTIES

2013.5.1

区分 Classification / 学類・大学院 Faculty・Graduate School	学類 Undergraduate School		大学院 Graduate School		計 Total
	正規生 Students	研究生等 Research Students	正規生 Students	研究生等 Research Students	
人間発達文化学類・人間発達文化研究科 Human Development and Culture・Human Development and Culture	8	1	4	0	13
行政政策学類・地域政策科学研究科 Administration and Social Sciences・Public Policy and Regional Administration	5	7	2	0	14
経済経営学類・経済学研究科 Economics and Business Administration・Economics	31	2	4	0	37
共生システム理工学類・共生システム理工学研究科 Symbiotic Systems Science・Symbiotic Systems Science and Technology	15	0	(博士前期) 7 (1) (博士後期) 5 (2)	0	27 (3)
計 Total	59	10	22 (3)	0	91 (3)

国別留学生数　NATIONALITIES

2013.5.1

区分 Classification / 国・地域 Nation・Region	学類 Undergraduate School		大学院 Graduate School		計 Total
	正規生 Students	研究生等 Research Students	正規生 Students	研究生等 Research Students	
中華人民共和国 People's Republic of China	43	7	16 (1)	0	66 (1)
台湾 Taiwan	1	0	0	0	1
韓国 Republic of Korea	5	0	1	0	6
モンゴル Mongolia	2	3	2	0	7
マレーシア Malaysia	1	0	0	0	1
ベトナム Socialist Republic of Vietnam	7	0	1 (1)	0	8 (1)
フィリピン Republic of the Philippines	0	0	1 (1)	0	1 (1)
ボリビア Plurinational state of Bolivia	0	0	1	0	1
計 Total	59	10	22 (3)	0	91 (3)

※　赤文字 (　) は国費留学生で内数
※　留学生数は在留資格が「留学」の者を計上

奨　学　生

SCHOLARSHIP STUDENTS

2013.5.1

区分 Classification / 学類・大学院 Faculty・Graduate School	対象学生数 Number of Eligible Applicants	日本学生支援機構奨学生 Japan Student Services Organization				その他の奨学生 Other Scholarship
		第1種 Loan 1	第2種 Loan 2	計 Total	比率(%) Ratio	
人文社会学群 Cluster of Human and Social Science						
人間発達文化学類 Faculty of Human Development and Culture	900	187	278	465	51.7	20
行政政策学類 Faculty of Administration and Social Sciences	720	113	239	352	48.9	24
経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration	737	164	252	416	56.4	13
夜間主コース(現代教養コース) Course of Liberal Arts for Modern Society	214	54	56	110	51.4	7
理工学群 Cluster of Science and Technology						
共生システム理工学類 Faculty of Symbiotic Systems Science	576	74	97	171	29.7	11
大学院 Graduate School	178	46	9	55	30.9	6
合計 Total	3,325	638	931	1,569	47.2	81

※基準日現在，１年生は未決定のため除く。

附属学校の定員及び現員

OFF-CAMPUS K-12 SCHOOLS

2013.5.1

区分 Classification / 学校別 School	入学(園)定員 Applicant Capacity	総定員 Student Capacity	現員 Present Number 1年 1st year	2年 2nd year	3年 3rd year	4年 4th year	5年 5th year	6年 6th year	合計 Total	
附属幼稚園 Kindergarten	30	90	3才児 3 year olds 13	13	4才児 4 year olds 22	3	5才児 5 year olds 12	11	47	74
									27	
附属小学校 Elementary School	105	690	38	42	50	52	48	45	275	598
			65	55	48	53	50	52	323	
附属中学校 Junior High School	140	440	67	72	77				216	432
			73	65	78				216	
附属特別支援学校 Special Needs Education School	17	60	10	12	8	2	2	2	36	50
			2	4	6	0	1	1	14	
小学部 1-6	3	18	1	2	1	2	2	2	10	15
			1	1	1	0	1	1	5	
中学部 7-9	6	18	4	3	2				9	15
			1	2	3				6	
高等部 10-12	8	24	5	7	5				17	20
			0	1	2				3	
合計 Total	292	1,280							574	1,154
									580	

※ 附属特別支援学校小学部は、1・2年、3・4年、5・6年で各1学級 計3学級
※ 黒文字は男子、赤文字は女子。

附属幼稚園
Kindergarten

附属小学校
Elementary School

附属中学校
Junior High School

附属特別支援学校
Special Needs Education School

国際交流会館

INTERNATIONAL HOUSE

2013.5.1

名称 Room	1室当り面積(㎡) Area	部屋数 Number of Rooms
単身室 Single	12	38
夫婦室 Double	35	5
家族室 Family	52	2
多目的ホール Multipurpose Hall	112	1
和室 Japanese Room	24	1
ランドリー・ルーム Laundry Room	14	2
談話室 Lounge	14	2
事務室 Office	19	1

国際交流会館
International House

学　生　寮

DORMITORIES

2013.5.1

寮　名 Name	如月寮 Kisaragi Dormitory	信夫寮 Shinobu Dormitory	葵　寮 Aoi Dormitory
構造・面積 Structure・Area	R5F 3,466㎡	R4F 2,701㎡	R4F 2,654㎡
収容対象 Occupants	男子学生 Male	男子学生 Male	女子学生 Female
室数 Bedrooms	200	150	150
収容可能人員 Capacity	200	150	150
現員 Present Occupancy	197	150	150

学　生　寮
Dormitories

大学会館

UNIVERSITY REFECTORY

2013.5.1

	施設名 Facilities	面積(㎡) Area	席・畳数 Capacity
1階 (1F)	大食堂 Large Cafeteria	1,046	980席
	売店 Shop	294	
2階 (2F)	レストラン Restaurant	186	90席
	ロビー Lobby	98	
	統サ室 Circle Room	22	

	施設名 Facilities	面積(㎡) Area	席・畳数 Capacity
2階 (2F)	大集会室 Large Assembly Hall	270	250席
	小集会室 Small Assembly Hall	35	32席
	〃	46	32席
	〃	32	32席
	和室 Japanese Room	35	12畳
	学生総合相談室 Student Counseling Office	35	
	学生総合相談室分室 Student General Consultation Room Branch Office	18	
	厨房・その他 Kitchen and Others	999	

大学会館
University Refectory

大　食　堂
Large Cafeteria

土地・建物面積

PROPERTIES

2013.5.1

部局等 Division	土地(㎡) Land	建物(延㎡) Building	備考 Location
事務局・学類・附属図書館 Head Office・Faculties・Library	432,894	※80,851	金谷川 Kanayagawa
附属小学校 Elementary School	18,804	9,018	新浜町 Shinhama-cho
附属中学校 Junior High School	34,808	6,177	浜田町 Hamada-cho
附属特別支援学校 Special Needs Education School	12,032	4,307	八木田 Yagita
附属幼稚園 Kindergarten	5,033	615	浜田町 Hamada-cho
国際交流会館 International House	5,439	1,412	舟場町 Funaba-cho
街なかブランチ舟場 Machinaka Branch FUNABA		402	
山の家 Mountain Lodge	5,932	419	高湯 Takayu
海の家 Seaside Lodge	2,903	0	四倉町 Yotsukura-machi
如春荘 Joshunso	1,249	273	森合 Moriai
艇庫 Boathouse	997	342	木幡 Kohata
桜木町住宅 Sakuragicho Accommodation	2,185	1,461	桜木町 Sakuragi-cho
野田住宅 Noda Accommodation	8,769	4,675	野田町 Noda-machi
松浪住宅 Matsunami Accommodation	1,753	1,338	松浪町 Matsunami-cho
その他 Others	1,708	0	
計 Total	534,506	※111,290	

金谷川団地屋外体育施設の現況 OUTDOOR SPORTS FACILITIES

名称 Name	内容 Area	
陸上競技場 Athletic Field	400mトラック(第4種公認)全天候	1面
バレーコート Volleyball Courts	(夜間照明)	5面
テニスコート Tennis Courts	(一部全天候・夜間照明)	10面
プール Swimming Pool	9コース 50m(公認)	1基
ハンドボールコート Handball Field		1面
野球場 Baseball Field	両翼90m, 中堅100m (夜間照明)	1面
サッカー・ラグビー場 Football Field	(夜間照明)	1面
ゴルフ練習場 Golf Field	9打席	1面
馬場 Riding Ground		1面

金谷川団地建物の現況 CAMPUS FACILITIES

名称 Name	構造 Structure	延面積(㎡) Space
人間発達文化学類棟 Faculty of Human Development and Culture-Bldg.	SR7F	5,979
行政政策学類棟 Faculty of Administration and Social Sciences-Bldg.	SR8F	5,690
経済経営学類棟 Faculty of Economics and Business Administration-Bldg.	SR8F	6,710
共生システム理工学類棟 Faculty of SymbioticSystems Science-Bldg.	SR7F	5,855
附属図書館 University Library	R3F	7,218
保健管理センター Healthcare Center	R2F	441
総合情報処理センター Information Network Center	R3F	1,942
総合教育研究センター Center for Research and Development of Education	R4F	1,995
うつくしまふくしま未来支援センター Fukushima Future Center for Regional Revitalization	R5F	※2,530
本部管理棟 Headquarters	R4F	2,440
学生活動センター Building for Student Council	S2F	229
講義棟(L棟) Lecture Halls	R1F	1,515
〃 (M棟)	R3F	2,843
〃 (S棟)	R4F	4,360
体育館 Gymnasium	RS1F・2F	2,652
第2体育館 2nd Gymnasium	RS2F	1,126
保健体育棟 Health and Physical Education Bldg.	R2F	924
音楽棟 Music Bldg.	R3F	1,190
美術棟 Fine Arts Bldg.	R2F	1,267
理工学類研究実験棟 SSS Research Laboratory	S7F	3,862
総合研究棟(理工系) SSS Research Laboratory	S7F	2,995
理工共通棟 SSS Technical Laboratory	R1F	404
共生システム理工学類後援募金記念棟 Memorial Laboratory of Supporter's Fund for Faculty of Symbiotic Systems Science	RC1F	334
うつくしまふくしま未来支援センターユニット棟 Fukushima Future Center for Regional Revitalization Temporary Administration Building	S2F	121
宇宙線観測室 Cosmic Rays Observatory	S1F	43
大学会館 University Refectory	R2F	3,184
文化系サークル棟 Building for Student Societies	R3F	885
体育系サークル棟 Varsity Building	R2F	710
更衣室 Locker Room	R1F	87
合宿研修施設 Training House	R1F	174
弓道場(5人立) Archery Field	S1F	120
厩舎 Stable	R1F	95
学生寮管理棟 Dormitory Administrative Offic	R1F	260
〃 如月寮 Kisaragi Dormitory	R5F	3,466
〃 信夫寮 Shinobu Dormitory	R4F	2,701
〃 葵寮 Aoi Dormitory	R4F	2,654
警務員室 Security Offic	R1F	34
西門警務員室 Security Offic	R1F	10
車庫 Garage	R1F	219
中央機械室 Power Supply Center	R2F	883
受水槽ポンプ室 Pump Room	R1F	130
中水処理施設 Sewage Disposal Plant	RS1F	116
その他 Others		458
計 Total		※80,851

※2013.5.31完成を含む

建物配置図

CAMPUS MAP

金谷川団地　KANAYAGAWA CAMPUS

※統合移転　昭和54年４月～

① 警 務 員 室　Security Office
② 保健管理センター　Healthcare Center
③ 本部管理棟　Headquarters
④ 車　　庫　Garage
⑤ 中央機械室　Power Supply Center
⑥ 受水槽ポンプ室　Pump Room
⑦ 行政政策学類　Faculty of Administration and Social Sciences
⑧ 経済経営学類　Faculty of Economics and Business Administration
⑨ 総合情報処理センター　Information Network Center
⑩ 学生活動センター　Building for Student Council
⑪ 附属図書館　Library
⑫ 講　義　棟　Lecture Halls
⑬ 人間発達文化学類　Faculty of Human Development and Culture
⑭ 共生システム理工学類　Faculty of Symbiotic Systems Science
⑮ 理工学類研究実験棟　SSS Research Laboratory
⑯ 総合教育研究センター　Center for Research and Development of Education
⑰ 保健体育棟　Health and Physical Education Bldg.
⑱ 美　術　棟　Fine Arts Bldg.
⑲ 音　楽　棟　Music Bldg.
⑳ 理工共通棟　SSS Technical Laboratory
㉑ 大 学 会 館　University Refectory
㉒ 体　育　館　Gymnasium
㉓ 第２体育館　2nd Gymnasium
㉔ 文化系サークル棟　Building for Student Societies
㉕ 体育系サークル棟　Varsity Building
㉖ 合宿研修施設　Training House
㉗ 学　生　寮　Dormitories
㉘ 弓　道　場　Archery Field
㉙ 中水処理施設　Sewage Disposal Plant
㉚ 宇宙線観測室　Cosmic Rays Observatory
㉛ 厩　　舎　Stable
㉜ 温室・網室　Greenhouse and Cage
㉝ 西門警務員室　Security Office
㉞ 更　衣　室　Locker Room
㉟ 総合研究棟（理工系）　SSS Research Laboratory
㊱ 共生システム理工学類後援募金記念棟　Memorial Laboratory of Supporter's Fund for Faculty of Symbiotic Systems Science
㊲ うつくしまふくしま未来支援センターユニット棟　Fukushima Future Center for Regional Revitilization Temporary Administration Building
㊳ うつくしまふくしま未来支援センター　Fukushima Future Center for Regional Revitalization

福島大学　Fukushima University

附 属 学 校　OFF-CAMPUS K-12 SCHOOLS

附 属 小 学 校　Elementary School

① 小学校校舎(南校舎)
School Building (south school building)
② 〃 (北校舎)
(north school building)
③ 小学校体育館
Gymnasium

附属特別支援学校　Special Needs Education School

① 特別支援学校校舎(小学部)
School Building (1-6)
② 〃 (中学部)
(7-9)
③ 〃 (高等部)
(10-12)
④ 〃 体育館
Gymnasium
⑤ 〃 木工室
Woodworking Room
⑥ 〃 日常生活訓練施設
Training Facility

附属中学校・附属幼稚園　Junior High School, Kindergarten

① 中学校校舎
Junior High School Building
② 〃 体育館
Gymnasium
③ 幼稚園園舎
Kindergarten
④ 〃 幼児教育センター
Early Childhood Education Center

部局等の所在地案内図

LOCATION OF OFFICES

交通機関案内　TRANSPORTATION

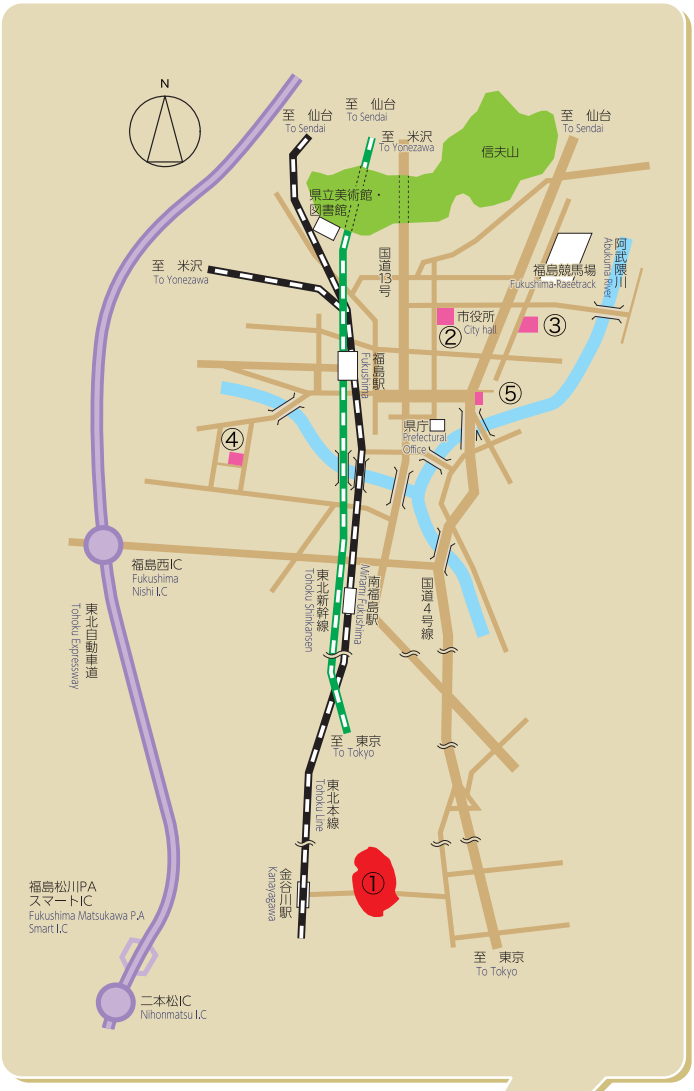
① 福島大学　Fukushima University
JR東北本線「金谷川駅」下車徒歩10分
Take the Tohoku-Line from Fukushima Station to Kanayagawa Station, which takes about 10 minutes. Then about 10 minutes on foot.

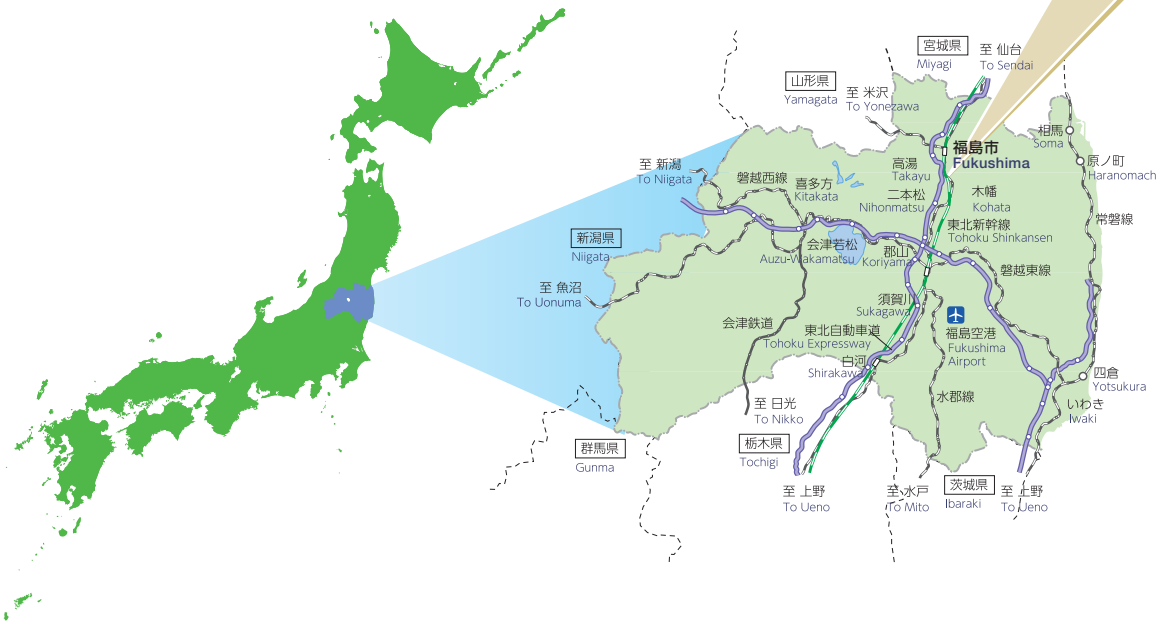
② 附属小学校　Elementary School
福島交通福島駅東口バス発着所から市内循環１コース約10分，「附属小前」下車
Take the “Round 1” course bus at the east side of Fukushima Station, and get off at “Fuzokusho”. (It takes 10 minutes)

③ 附属中学校　Junior High School
附属幼稚園　Kindergarten
福島交通福島駅東口バス発着所から伊達・藤田・保原方面行乗車，約８分，「東高校前」下車徒歩５分
Take the bus for “Date・Fujita・Hobara” at the east side of Fukushima Station, and get off at “Higashiko”. It takes about 8 minutes, then 5 minutes on foot.

④ 附属特別支援学校
Special Needs Education School
福島交通福島駅東口バス発着所から荒井・土湯方面行乗車約15分，「福島ふそう前」下車徒歩５分
Take the bus for “Arai・Tsuchiyu” at the east side of Fukushima Station, and get off at “Fukushima-Fuso” It takes 15 minutes, then 5 minutes on foot.

⑤ 国際交流会館
International House
福島大学サテライト「街なかブランチ舟場」
Fukushima University Satellite「Machinaka Branch FUNABA」





部局等の所在地及び電話番号

CONTACT ADDRESSES

2013.5.1

部局等 Division		電話番号 Telephone	所在地 Address
人文社会学群	人間発達文化学類 Faculty of Human Development and Culture	024−548−8103	〒960−1296 福島市金谷川1番地
	行政政策学類 Faculty of Administration and Social Sciences	024−548−8253	
	経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration	024−548−8353	
理工学群	共生システム理工学類 Faculty of Symbiotic Systems Science	024−548−5213	
附属図書館 University Library		024−548−8083	〒960−1293 福島市金谷川1番地
保健管理センター Healthcare Center		024−548−8068	〒960−1296 福島市金谷川1番地
地域創造支援センター Center for Regional Affairs		024−548−8009	
総合情報処理センター Information Network Center		024−548−8018	
総合教育研究センター Center for Research and Development of Education		024−548−8110	
うつくしまふくしま未来支援センター Fukushima Future Center For Regional Revitalization		024−504−2865	
国際交流センター International Center		024−503−3067	
環境放射能研究所 Institute of Environmental Radioactivity		024−504−2114	
事務局 Administration Bureau	役員室	024−548−5224	
	評価室	024−548−8382	
	監査室	024−548−5193	
	総務課	024−548−8006	
	人事課	024−548−8007	
	財務課	024−548−8016	
	施設課	024−548−8021	
	教務課	024−548−8053	
	学生課	024−548−8061	
	就職支援室	024−548−8108	
	入試課	024−548−8064	
	研究協力課	024−548−8009	
	地域連携課	024−548−8012	
	学術情報課	024−548−8083	
如月寮 Kisaragi Dormitory			〒960−1248 福島市金谷川5番地
信夫寮 Shinobu Dormitory			
葵寮 Aoi Dormitory			

※平成12年地名変更　金谷川←松川町浅川字直道

附属幼稚園 Kindergarten	024−534−7962	〒960−8107 福島市浜田町12番39号
附属小学校 Elementary School	024−534−6441	〒960−8022 福島市新浜町4番6号
附属中学校 Junior High School	024−534−6442	〒960−8107 福島市浜田町12番26号
附属特別支援学校 Special Needs Education School	024−546−0535	〒960−8164 福島市八木田字並柳71番地
国際交流会館 International House	024−521−2428	〒960−8103 福島市舟場町4番30号
街なかブランチ舟場 Machinaka Branch FUNABA		
如春荘 Joshunso		〒960−8003 福島市森合字台13番地9号
艇庫 Boathouse		〒964−0203 二本松市木幡字西和代191番地9号
桜木町住宅 Sakuragicho Accommodation		〒960−8133 福島市桜木町8番1号
野田住宅 Noda Accommodation		〒960−8055 福島市野田町五丁目7番
松浪住宅 Matsunami Accommodation		〒960−8114 福島市松浪町1番29号